



今週のPOINT

国内株式市場

国内外での決算発表本格化、日米金融政策会合などイベント豊富

今週の分析銘柄 - FISCO Selection 8 -

朝日インテック【プライム 7747】ほか

テーマ別分析

フィジカルAIで物流現場の変革加速へ

話題のレポート

通期計画に対して進捗率が高い銘柄

スクリーニング分析

高値から半値以下まで調整している大型株

本格化する決算発表が見直しのきっかけにも

1	今週の市場見通し	国内株式市場	マーケット概観	3
			新興市場	4
		米国株式市場		5
		為替市場	米ドル/円予想レンジ	6
		債券市場	債券先物・長期国債利回り予想レンジ	6
2	マーケットを読む	今週のポイント		7
		日経平均株価		8
3	今週の分析銘柄	FISCO Selection	ソラコム 〈147A〉 グロース	9
			東亜合成 〈4045〉 プライム	10
			サイバーセキュリティラウド 〈4493〉 グロース	11
			インフロニア HD 〈5076〉 プライム	12
			ヨコオ 〈6800〉 プライム	13
			古野電気 〈6814〉 プライム	14
			三井ハイテック 〈6966〉 プライム	15
			朝日インテック 〈7747〉 プライム	16
		読者の気になる銘柄	ディスコ 〈6146〉 プライム	17
			オービック 〈4684〉 プライム	17
		テクニカル妙味銘柄	SANKYO 〈6417〉 プライム	18
			大和工業 〈5444〉 プライム	18
4	カテゴリー考察	テーマ別分析		19
		スクリーニング分析		20
		先週の話題レポート		21
		信用需給動向		22
5	連載コラム			23

国内外での決算発表本格化、日米金融政策会合などイベント豊富

■AI・半導体株への売り圧力強く、日経平均は往って来い

先週の日経平均は前週末比 470.03 円高 (+0.7%) の 64611.15 円で取引を終了した。連休明けの東京市場は大幅反発でのスタート。前日の米国半導体株の上昇、当日の韓国市場の上昇などを背景に、前週末大幅安の反動から人工知能 (AI)・半導体株を中心に押し目買いの動きが優勢となった。中東情勢は一段と悪化、イエメンの親イラン武装組織フーシ派が紅海を念頭に「海上封鎖」を即時実施すると宣言したものの、ネガティブな反応は限られた。一方、翌日も一時は 1300 円余り上昇する場面があったが、次第に AI 関連には売り圧力が優勢となり、結局マイナスサイドまで押し戻された。23 日も一時 900 円超の上昇から 300 円高まで上げ幅を縮小するなど、AI 関連銘柄に対する売り圧力の強さが認識される状況となった。

そして週末は大幅反落となり、結局先週の日経平均は「往って来い」の相場展開となった。AI・半導体株の下げが下落相場を主導。好決算を発表したアルファベットが米国市場で下落し、AI 過剰投資への警戒感が強まることとなって、他のハイパースケーラーも全面安の動きとなり、ナスダック指数が大きく下落した。個別株レバレッジ型上場投資信託 (ETF) について、投資家への取引規制の強化を前倒しで実施すると発表されたことから、韓国株式市場の下落も響くこととなった。なお、中東情勢の緊迫化によって今週は原油相場が上昇、約 1 か月半ぶりに WTI 先物価格は 90 ドル台を突破している。

■国内外で本格化する AI・半導体株の決算発表に注目

先週末の米国株式市場はまちまち。ダウ平均は前日比 235.60 ドル高の 51947.25 ドル、ナスダックは同 161.87 ポイント安の 24975.82 で取引を終了した。225 ナイト・セッションは日中終値比 270 円安の 64290 円。対イラン和平協議の再開を仲介国が模索していると報じられて原油価格が下落、ダウの押し上げ材料となったが、決算発表を行ったインテルをはじめ半導体株は総じて下落、ナスダックは低調な推移となった。

今週は国内外で主要企業の決算発表が本格化するほか、日米で金融政策決定会合が開催され、さらに欧米で 4-6 月期の国内総生産 (GDP) が発表されるなど、重要な経済指標の発表も数多く予定されている。中でも、AI・半導体関連株の決算発表後の株価動向が最も注目を集めることになるだろう。韓国サムスン電子の暫定決算が始まって、台湾 TSMC、米アルファベット、国内ディスコ (6146) など、総じて好決算を発表したものの株価が下落、あらためてバリュエーション面での過熱感が意識される状況になっている。全般的に警戒モードも強まりつつあるとはいえ、今週はまだ好決算発表を材料出尽くしと捉える動きが優勢になりそうな雰囲気だ。国内では大手半導体株や AI インフラ関連の決算発表が集中、決算発表後の動向が警戒される。

海外では、SK ハイニックスやサムスン電子など韓国勢のほか、メタ、マイクロソフト、アマゾンなどハイパースケーラーの決算発表も集中する。ほか、アーム HD、クアルコムなどの半導体関連銘柄の決算も予定されている。

一方、安川電機 (6506) の決算発表で警戒感が先行した FA 関連銘柄の決算は、見直しの動きにつながっていくか注目される。過度な AI 代替懸念が強まっている情報サービスセクター、金利上昇メリットとなる銀行株の決算にも関心が向かう。

■日米ともに金融政策は据え置きの公算

今週の日銀金融政策決定会合では政策金利の据え置きがほぼ確実視されている。ただ、中東情勢の悪化、それに伴って円安が進展している中、先週には、日本銀行は利上げペースを半年に 1 回程度の市場見通しよりも加速させることに柔軟な姿勢との報道も伝わっている。こうした状況下では、日銀がハト派的な姿勢を示した場合、急速に円安に振れるリスクも大きいだろう。利上げ前倒しに対して、今回はかなり前のめりのスタンスも想定されることになろう。東京株式市場にとってはややネガティブな状況となりそうだ。

一方、今週の米連邦公開市場委員会 (FOMC) での利上げ確率は 3 割超の水準に高まってきているもよう。ただ、ウォーシュ連邦準備制度理事会 (FRB) 新議長が経済認識や政策スタンスを明確に示していない中、今回利上げを実施した場合は、金融市場とのコミュニケーションエラーに対する懸念が強まっていく余地も残る。今回の利上げ見送りならば、市場にはやや安心感が生じるものとみられる。

■日米で金融政策会合が開催予定

今週、国内では、27 日に 6 月企業向けサービス価格指数、30 日に 7 月消費動向調査、31 日に 6 月失業率・有効求人倍率、6 月鉱工業生産、6 月小売業販売額、7 月東京都区部消費者物価指数が発表される。なお、30 日から 31 日かけて日銀金融政策決定会合が開催され、31 日には植田日銀総裁の会見が行われるほか、展望レポートが公表される。

海外では、27 日に独・7 月 Ifo 景況感指数、米・6 月耐久財受注、28 日に米・5 月住宅価格指数、5 月 S&P ケースシャー住宅価格指数、7 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、30 日に欧・4-6 月期ユーロ圏 GDP、米・4-6 月期 GDP、6 月個人所得・個人支出・デフレーター、新規失業保険申請件数、31 日に中・7 月製造業・非製造業 PMI (国家統計局)、欧・7 月消費者物価指数、米・7 月シカゴ購買部協会景況指数などが発表される。なお、28 日から 29 日にかけて FOMC が開催され、29 日には FRB 議長の会見が予定されている。

日米韓の大型生成 AI 関連株決算にらみ、TOPIX 採用候補にも注目

■好決算で日米韓の超大型株がアク抜けとなるか

今週の新興市場は、日米韓の大型生成 AI 関連株の決算発表後の値動きが地合いを左右しそうだ。29 日にアドバンテスト<6857>、韓国 SK ハイニックス、米マイクロソフトが決算発表し、翌 30 日は東京エレクトロン<8035>、韓国サムスン電子、米アップル、31 日はキオクシアホールディングス<285A>と業績開示が続く。好決算で日米韓の超大型株がアク抜けとなれば、パワーエックス<485A>や QD レーザ<6613>、データセクション<3905>などに買いが向かう。

ただ、業績成長期待の高い業種であることから、大型生成 AI 株が決算発表後もさえない値動きが続けば、引き続き Terra Drone<278A>など防衛予算獲得が見込まれるドローン関連株や、10 月の TOPIX 組み入れ観測があるジーエヌアイグループ<2160>やパワーエックス、MTG<7806>といった大型銘柄に物色の矛先が向かう。

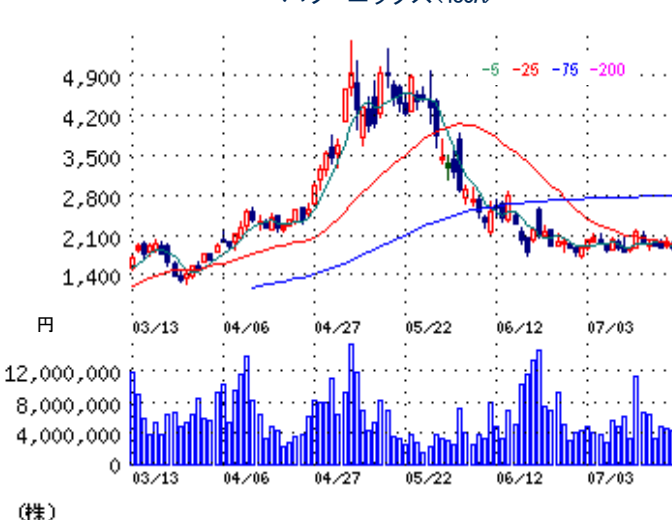
先週末大引け後に情報開示のあった銘柄では、国立研究開発法人日本医療研究開発機構 (AMED) の公募事業に、子宮頸がん向けリンパ球再生医療等製品開発が採択されたりプロセル<4978>や、6 月のストック売上高が好調だったラストワンマイル<9252>などが注目されそうだ。

今週は、29 日に 2 社の IPO が予定されている。スタンダード上場のビーエイブル<604A>は原子力発電所の建設や廃炉を手掛け、グロース上場のアイ・グリッド・ソリューションズ<603A>は太陽光開発や電力小売り事業を展開する。いずれも原油高騰下で注目されやすいエネルギー関連株であり、好調な初値が期待できそうだ。

東証グロース市場 250 指数



パワーエックス<485A>



ジーエヌアイグループ<2160>



AI 関連株の決算集中、FOMC など重要イベント目白押し/米国株式相場 今週の見通し

■先週の動き

先週の米国株は下落。騰落率は、NY ダウが-0.38%、ナスダックが-2.13%、S&P500 が-0.61%。イエメンの親イラン武装組織フシ派が紅海を念頭に「海上封鎖」を即時実施すると宣言、中東情勢の一段の緊迫化、それに伴う原油高を嫌気して週初は売りが先行した。一方、足下売り込まれてきた人工知能（AI）・半導体関連株は週前半買いが優勢となり、相場を下支える形になった。

しかし、アルファベットが決算発表後に大きく下落し、これが他のハイパースケーラーなどにも波及する形となり、AI・半導体株は週後半にかけて崩れる展開となった。決算は良好であったものの、設備投資見通しの引き上げなどから、AI 過剰投資への懸念が改めて強まることになったもよう。テスラやインテルなども決算発表後に下落、ハイテク株安の流れをより強めさせた。なお、週末にかけ、パキスタンが戦闘終結に向けた交渉の仲介を模索と伝わり、イランとの戦闘終結に向けた交渉再開への期待は高まった。

個別では、AMD は週前半に大きく上昇、マイクロソフトが「Helios」次世代 AI システムを導入すると発表したことが好感された。AMC エンターは第2 四半期決算で予想外の黒字を計上したほか、新作映画の週末興行収入も好調で買われた。GM は値上げが奏功して利益が予想を上回り、通期の見通しを引き上げて上昇。シスコシステムズは、サイバーセキュリティ関連のオープンウェイト AI モデル発表が材料視された。AT&T は携帯電話の契約者数が強く、利益が予想を上回り買われた。スーパー・マイクロ・コンピューターは暫定決算で、AI サーバー需要の拡大がけん引し、受注残が過去最高に達したことが明らかになって上昇。ロッキード・マーチンや RTX は、第2 四半期好決算、通期見通し引き上げで買われた。セールスフォースは、退役軍人省との契約による売上増期待に週末上昇した。

一方、アルファベットは決算で示された AI 投資拡大計画が警戒されて売られた。テスラも AI を含めた設備投資大幅拡大が警戒された。インテルは市場予想を上回る売上高となったが、決算発表後は出尽くし感が優勢となった。パラマウント・スカイダンスはワーナー・ブラザース買収を巡り、連邦地裁が2 週間の差し止めを命じたため下落。T モバイルは契約者数の伸び鈍化が嫌気され下落。アメリカン・エクスプレスは業績見通しが冴えずに売られた。ウーバーは、自動運転タクシーサービスを提供するウェイモが契約解消を検討との報道で下落。スペース X は大型宇宙船「スターシップ」の打ち上げが悪天候により再び延期されたことが嫌気された。

■今週の見通し

決算発表後に下落する主要ハイテク株が多くなっている。先週下落したアルファベット、テスラ、インテルなどは総じて設備投資計画を引き上げており、利益に見合わない過剰投資への懸念が高まっている印象。とりわけ、データセンターへの過剰投資懸念が強まっている中、今週はメタ、マイクロソフト、アマゾンなどハイパースケーラーの決算発表が集中する。少なくとも、決算発表に向けては警戒感が先行しやすい地合いであるといえよう。ほか、今週はアームHD、クアルコム、コーニング、アップルなどの決算も注目されるほか、韓国でも SK ハイニックスとサムスン電子の決算発表が予定されている。なお、こうした主要ハイテク株の中で、決算発表後に見直しの動きが強まる銘柄が散見されてくれば、AI・半導体関連株の調整トレンドに変化が生じる可能性は残る。

今週は連邦公開市場委員会（FOMC）も開催される。今回の利上げ確率は3 割超の水準に高まってきているもよう。ただ、ウォーシュ連邦準備制度理事会（FRB）新議長が経済認識や政策スタンスを明確に示していない中、今回利上げを実施した場合は、金融市場とのコミュニケーションエラーに対する懸念が強まっていく可能性が高まるだろう。今回の利上げが見送られれば、ジャクソンホール会合を経て、9 月会合で利上げが実施される可能性が高いとはいえ、市場にはやや安心感が生じるものとみられる。ほか、中東情勢の改善は、非AI 銘柄への資金流入をより促すものとして期待される。

経済指標は、27 日に6 月耐久財受注、28 日に5 月住宅価格指数、5 月 S&P ケースシラー住宅価格指数、7 月コンファレンスボード消費者信頼感指数、30 日に4-6 月期 GDP、6 月個人所得・個人支出・デフレーター、新規失業保険申請件数、31 日に7 月シカゴ購買部協会景況指数などが発表される。なお、28 日から29 日にかけて FOMC が開催され、29 日にはウォーシュ FRB 議長の会見が予定されている。

主な決算発表は、27 日にユニバーサル・ヘルス、ニューコア、28 日にテラダイン、ペイパル、ボーイング、コーニング、コカ・コーラ、ロイヤル・カリビアン・クルーズ、シーゲイト、ビザ、UPS、フォード、29 日にバイオジェン、ADP、ボストン・サイエンティフィック、メタ、マイクロソフト、P&G、クアルコム、スターバックス、パーティブ HD、30 日にアップル、アマゾン、マスターカード、アレグロマイクロ、アルトリア・グループ、31 日にシェブロン、エクソン・モービルなどが予定されている。

為替市場

米ドル・円 予想レンジ

158.00 円 ~ 165.00 円

ドル・円は底堅いか。日本の為替介入への警戒感や国内金融資産への投資拡大期待は継続しているものの、原油高によるインフレ加速が意識され、ドルは買い継続で上値を試す展開となりそう。ドル・円は1986年12月以来の163円台に浮上しており、「防衛ライン」とされる160円を大きく上回る水準のため為替介入への警戒が強まっている。高市政権からも円安牽制発言が相次いでいるが、日本銀行は30-31日に金融政策決定会合を開催し、政策金利の据え置きを決める公算。利上げ方向に向かっているとはいえ、そのペースは緩慢との見方が広がり、むしろ円売りが見込まれる。

また、米連邦準備制度理事会（FRB）は28-29日に連邦公開市場委員会（FOMC）を開催し、政策金利を据え置く見通し。ただ、中東情勢が再び混迷を深めており、原油高はインフレ圧力として意識されやすい。米国の消費者物価指数（CPI）と生産者物価指数

（PPI）は伸びの鈍化を示したが、FRBはインフレ対応を緩めない姿勢で、ドル買いは継続しそうだ。そのため、ドル・円は下押しされながらも上値を試す展開が予想される。

【米連邦公開市場委員会（FOMC）】（28-29日開催予定）

米連邦準備制度理事会（FRB）は28-29日にFOMCを開催し、政策金利を据え置く公算。引き締めの政策スタンスなら年内利上げに思惑が広がり、ドル買い材料となる。

【米・4-6月期国内総生産（GDP）速報値】（30日発表予定）

30日発表の米4-6月期国内総生産（GDP）速報値は前期比年率+2.3%と、1-3月期の+2.1%を上回る見通し。回復が顕著になれば、金融引き締めをにらんだドル買い材料に。

債券市場

債券先物予想レンジ

126.50 円 ~ 127.80 円

長期国債利回り予想レンジ

2.700 % ~ 2.950 %

■先週の動き

先週（7月20日-24日）の債券市場で長期債利回りは上昇した。高市政権の積極財政に伴う国債増発懸念が引き続き上値を抑え、原油価格も高止まりが続いたことでインフレ懸念がくすぶり、債券売り圧力が優勢となった。年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）の国内金融資産投資拡大への期待は引き続き下支え要因として意識されたものの、政府内の慎重論が根強く、買いの勢いは限られた。

10年債利回りは上昇。2.719%近辺で20日の取引を開始し、同水準でもみ合う場面もあったが、週を通じて緩やかに水準を切り上げ、23日に2.776%近辺、24日には2.823%近辺まで上昇し、2.804%近辺でこの週の取引を終えた。

債券先物は軟調。127円81銭で20日の取引を開始し、同日127円62銭まで下押しした後127円67銭で引けたが、その後も徐々に水準を切り下げ、23日には126円94銭まで安値を広げ、24日は127円13銭を高値に127円01銭でこの週の取引を終えた。

■今週の見通し

今週（7月27日-31日）の債券市場で長期金利はもみ合いとなる見込み。日本銀行は30-31日開催予定の金融政策決定会合において、政策金利1.00%を据え置く方針であり、6月利上げの影響を見極める段階にある。日銀ウォッチャーを対象としたアンケートでも、回答者全員が7月会合での据え置きを予想しており、利

上げ自体はほぼ織り込み済みのため、決定直後の市場反応は限定的となりそうだ。

最大の注目点は同日公表される展望レポートの内容と、31日の植田総裁の記者会見だろう。エコノミストは日銀が26年度の実質GDP成長率見通しを4月時点の0.5%から約0.8%に上方修正すると予想しており、成長見通しの改善が示されれば次の利上げ時期をめぐる思惑が高まる可能性がある。一方、26年度のコアインフレ見通しはエネルギー補助金の影響でやや下方修正される可能性もあり、物価と成長の見通しが食い違う内容となれば市場の方向感も定まりにくい。次の利上げについては、バンク・オブ・アメリカが10月を予想するなど、市場では10月か12月との見方が多い。植田総裁の会見で積極的な姿勢が示されれば10月利上げ観測が高まり長期債に売り圧力がかかる一方、慎重姿勢が確認されれば利回りの上昇は抑制される。

引き続き高市政権の財政拡張懸念と原油価格の動向も手掛かり材料となる。GPIFの国内金融資産への投資に向けた具体的な動きが示された場合は円債買い安心感につながるが、政府内の慎重論が改めて浮上した場合は期待剥落から売りが優勢となる局面も想定される。

債券先物9月限は主に126円台後半から127円台後半での推移か。日銀会合での政策金利据え置きは既定路線だが、展望レポートや植田総裁会見の内容次第で振幅が大きくなる可能性があり、特に31日の総裁会見後の市場反応を見極める展開となりそうだ。

重要イベント目白押しだが、国内外 AI・半導体関連の決算が最注目

先週の日経平均は反発。ただ、週初的大幅上昇後は上値の重さも目立ち、週末にかけては伸び悩む展開となった。引き続き、AI・半導体関連株の動向が指数の方向性を形成しており、週末は米アルファベットが好決算発表にも関わらず下落したことで、大きく値を下げる動きとなっている。なお、先週は中東情勢が一段と悪化し原油相場の上昇も目立っており、出遅れ株の戻りを抑える形にもなった。業種別では、原油高を受けて鉱業や石油セクターが上昇、長期金利上昇で銀行や保険も買われる。

個別では、大幅増配を発表して配当利回り妙味が急速に高まった三井松島が上昇率トップ。KOA、OBC などは好決算が評価され、インソースは自社株買いや記念配実施が評価材料となる。いよぎんHDとの経営統合報道が伝わった愛媛銀行も急伸、日銀の利上げ期待や再編期待の波及から、地銀株で上昇が目立つものも多く散見される。イビデン、三菱商事には投資判断格上げの動きなどが観測された。一方、J フロント、高島屋、松屋、三越伊勢丹など小売りの一角には売り圧力が強まった。弁護士ドット、メルカリ、メドレー、Appier など情報通信セクターの一角も売り圧りに押されるものがみられた。決算発表を行ったディスコは、7-9 月期ガイダンスがマイナス視される形で週末に大幅安。三菱自動車には目標株価引き下げの動きなどがみられている。ほか、KPP グループは株主還元策の拡充が評価され、AZ-COM 丸和も株主優待制度の新設が好感される。テスHDは業績・配当上方修正も出尽くし感強まり週末に売られる。

今週は国内外で主要企業の決算発表が本格化するほか、日米で金融政策決定会合が開催され、さらに欧米で 4-6 月期 GDP などが発表される。重要イベント豊富だが、中でも、AI・半導体関連株の決算発表後の株価動向が、株式市場において最も注目されるものとなる。ここまでの注目銘柄は、総じて好決算を発表したものの株価は下落となっている。あらためてバリュエーション面での過熱感が意識される状況と捉えられよう。国内では今週、SCREEN、アドバンテスト、東京エレクト、キオクシア、村田製、ルネサス、住友電工、TDK などの発表が予定されている。海外では、韓国の SK ハイニックスやサムスン電子、米国ではメタ、マイクロソフト、アマゾンなどハイパースケーラーの決算発表が集中。アームHD、クアルコム、コーニング、アップルなどの決算も国内関連銘柄に影響を与えそう。少なくとも総じて、決算発表前は警戒感が先行しよう。一方、安川電機の決算を受けてつれ安した FA 関連銘柄は、キーエンス、ファナック、三菱電機など、発表後に見直しの動きが強まるか注目される。過度な AI 代替懸念が強まっている情報サービスセクターでは NEC や NRI、金利上昇メリットとなる銀行株では三井住友 FG、みずほ FG、三井トラストなどが決算発表を予定。

日銀金融政策決定会合では政策金利の据え置きが確実視されているが、次回の利上げ時期は10月に前倒しとの見方も強まりつつある。日銀がハト派姿勢を示した場合急激な円安進行リスクがあり、タカ派化による相場へのマイナス影響には注意。

先週動いた銘柄・セクター（東証プライム）

上昇率上位銘柄				下落率上位銘柄				業種別騰落率	
コード	銘柄	終値（円）	騰落率（％）	コード	銘柄	終値（円）	騰落率（％）	上位セクター	騰落率（％）
1518	三井松島	2,241.0	48.12	6572	オープンG	241.0	-10.74	鉱業	10.06
7034	プロレド	453.0	27.61	3086	J フロント	2,937.5	-10.09	銀行業	7.93
6999	KOA	2,782.0	24.20	8233	高島屋	2,236.0	-9.86	保険業	7.38
8541	愛媛銀行	2,794.0	20.59	9304	洪澤倉庫	1,800.0	-9.04	石油・石炭製品	6.25
6200	インソース	724.0	15.65	7211	三菱自動車	347.0	-8.78	非鉄金属	6.03
429A	テクセンド	4,105.0	15.47	8237	松屋	1,688.0	-8.76	卸売業	5.83
8393	宮崎銀行	2,478.0	15.42	4051	GMOフィナンシャルゲート	6,090.0	-8.28	証券業	4.41
4733	OBC	7,638.0	15.38	6027	弁護士ドットコム	2,199.0	-7.99	下位セクター	騰落率（％）
6961	エンプラス	13,150.0	15.35	4385	メルカリ	4,250.0	-7.93	空運業	-3.19
8544	京葉銀行	2,844.0	15.19	4784	GMOインターネット	497.0	-7.62	サービス業	-2.51
8360	山梨銀行	7,090.0	14.54	4680	ラウンドワン	1,176.0	-7.44	精密機器	-2.27
8392	大分銀行	2,790.0	14.20	3436	SUMCO	3,623.0	-7.43	その他製品	-1.89
7184	富山第一銀行	3,065.0	14.15	4071	プラスアルファ	2,220.0	-7.35	小売業	-1.85
8388	阿波銀行	8,680.0	13.76	4973	日本高純度化学	4,425.0	-7.23	金属製品	-1.67
6237	イワキポンプ	4,990.0	13.28	4574	大幸薬品	258.0	-7.19	化学工業	-0.90

軟調、下向きの 25 日線が調整継続を示唆

■値動きが荒くなる場面が出てきそう

先週（7月21-24日）の日経平均は3週ぶりに上昇した。1週間の上げ幅は470.03円（先週4416.61円安）だった。

先週の日経平均は週初21日に終値2091.07円高と急伸したが、週末24日の大幅安で上げ幅を縮めた。この間、下向きの25日移動平均線の下方で株価が推移するとともに、週足ではザラ場高値が4週連続で切り下がるとともに終値は2週連続で13週移動平均線を下回り、買い方苦戦の相場となった。

今週の日経平均は軟調が予想される。25日線の上向き転換ラインは今週末31日に72366.35円まで切り上がるため週内は25日線の下降が継続する公算が大きく、短中期ベースでは調整局面延長が想定される。

一方、日経平均の構成比上位銘柄の25日線下方乖離率はキオクシアホールディングス<285A>が28.97%、イビデン<4042>が18.22%、東京エレクトロン<8035>が12.39%など短期的な底値到達ラインとして意識される10%を超えており、これらの銘柄のリバウンド圧力が日経平均を下支えしよう。

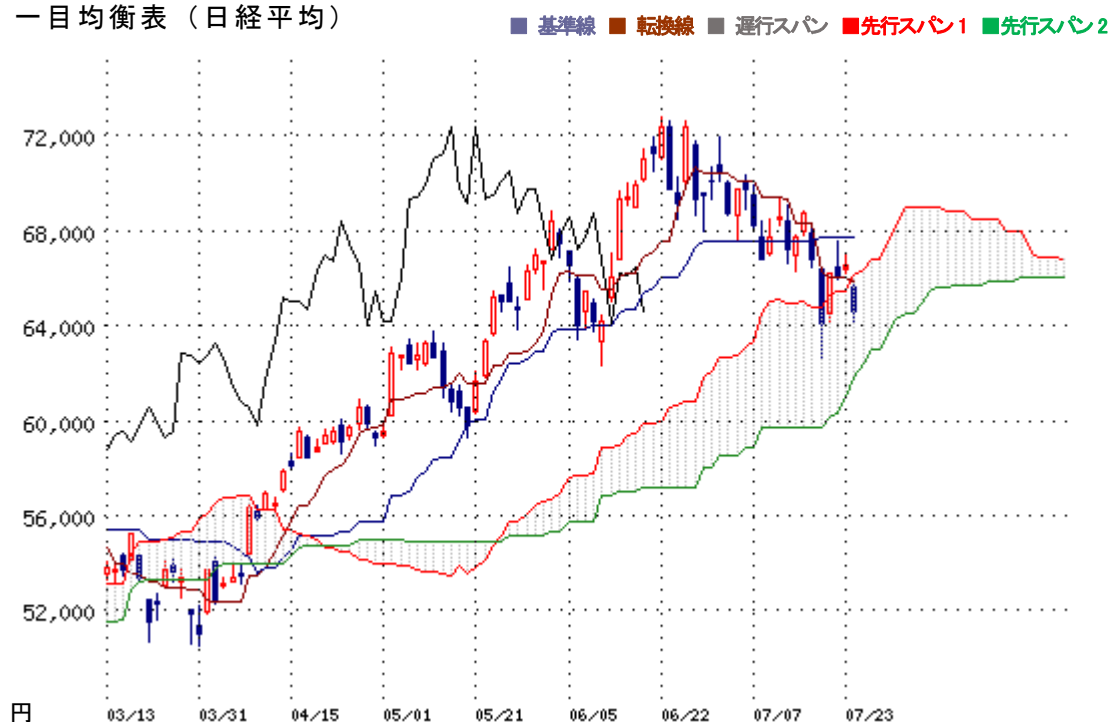
先週末終値が25日線を上回る銘柄は、プライム市場の全銘柄で65%（先々週末は60%）日経平均採用225銘柄で136銘柄（同123銘柄）といずれも増加した。短中期投資家は含み損益が改善し、相場全体としてリスク負担能力が増したと推察される。

ボリンジャーバンド（25日ベース）では、先週末終値が -2σ に急接近し、下値拡張リスクを警告している。1 σ の値幅は2124.63円（先々週末1873.78円）に急拡大し、値動きが荒くなる場面が出てきそう。

上値では、先週高値67592.20円や6月高値から先週末7月17日安値までの半値戻し67768.17円前後が抵抗線として作用しよう。

一方、一目均衡表の雲下限は切り上げが続いており、今週末終値が64297.39円を下回ると株価の雲下限割れで三役逆転の弱気パターンが確定してチャート形状は一段と悪化し、7月17日安値62704.60円を試す展開となりそう。

一目均衡表（日経平均）



ソラコム〈147A〉グロース

AI・IoT 基盤を強みに成長加速、フィジカル AI 時代へ

■AI・IoT基盤でフィジカルAI時代を支える

IoT 向け通信を軸に、SIM、クラウド、デバイスを一体で提供する AI/IoT コネクティビティプラットフォームを展開。通信サービスを中心としたリカーリング収益が売上高の約 75%を占めるストック型ビジネスであり、国内外 4 万社超の顧客基盤を有する。AI カメラやコネクテッドカー、スマートメーターなど幅広い分野への展開を進めるほか、550 キャリア・207 カ国・地域をカバーするグローバルネットワークや独自のクラウドネイティブ技術が強みに、AI・IoT 市場の拡大を見据え、事業基盤の強化を進めている。

■AIエージェント対応サービスを拡充

7 月には AI エージェント向けに公式ドキュメントを検索・参照できる「SORACOM Knowledge MCP サーバー」の提供を開始。AI のハルシネーション抑制や回答精度向上を支援するほか、AI を活用した IoT 導入・運用支援も強化している。会社側は、市場が Massive IoT からフィジカル AI へ移行する局面と位置付けてお

売買単位	100 株
7/24 終値	994 円
目標株価	1250 円
業種	情報・通信

り、AI ネイティブカメラや AI×IoT ソリューションなど新たな成長領域への展開を加速する方針。通信・クラウド・AI をつなぐ基盤として、フィジカル AI 時代に存在感を高めていく展開が期待される。株価は 25 日線近辺まで調整したものの、中長期の上昇トレンドは維持。まずは 6 月高値突破となる 1250 円を目標株価とした

★リスク要因

通信回線調達コストの上昇など。

147A: 日足

まずは 25 日線・75 日線を回復できるかが焦点。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連	6,299	15.6%	101	112	-75.9%	70	1.84
2024/3連	7,928	25.9%	727	638	469.6%	485	12.59
2025/3連	8,993	13.4%	656	619	-3.0%	352	7.84
2026/3連	12,423	38.1%	871	857	38.4%	631	13.94
2027/3連予	15,124	21.7%	1,122	1,073	25.2%	706	15.49

東亜合成〈4045〉プライム

注力分野の積極開発を推進、PBR0.8 倍台かつ配当利回り 3.9%程度で推移

■今期は増収増益見通し

瞬間接着剤「アロンアルファ」で知られる老舗化学メーカー。26 年 12 月期第 1 四半期の売上高は 386.34 億円(前年同期比 3.0%減)、営業利益は 32.06 億円(同 4.7%減)で着地した。基幹化学品が一部製品の販売終了や修理費用増加等で減益となった一方、AI 向け半導体需要の拡大を受けた高純度無機化学品の伸長や、車載・医薬向けアクリルポリマーが堅調に推移した。通期計画は売上高 1670 億円(前期比 2.9%増)、営業利益 145 億円(同 2.3%増)を見込む。原燃料高騰に対しては、価格改定や代替調達等で機動的に対応を進める方針である。

■モビリティや半導体など注力

株価は直近 1700 円台半ばでもみ合う展開。同社は中期経営計画で、28 年度に売上高 1800 億円・営業利益 180 億円・ROE6.5%を掲げている。モビリティや半導体、メディカル、環境

売買単位	100 株
7/24 終値	1768.5 円
目標株価	2000 円
業種	化学

インフラを注力分野として積極開発を推進するほか、不採算事業の見直しなど既存事業のブラッシュアップを図る。総還元性向 90%程度・配当性向 70%程度への引き上げや株主優待制度導入を打ち出している。PBR0.8 倍台で推移する中、引き続き目標株価は PBR1 倍前後付近の 2000 円とする。

★リスク要因

原燃料価格の高騰や半導体・モビリティ市場の回復遅れなど。

4045: 日足

1750 円を挟んでもみ合う展開。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/12連	160,825	2.9%	14,382	16,446	-13.4%	12,494	101.31
2023/12連	159,371	-0.9%	12,499	14,503	-11.8%	12,179	102.78
2024/12連	167,594	5.2%	14,233	15,993	10.3%	11,877	104.56
2025/12連	162,312	-3.2%	14,180	15,067	-5.8%	12,766	117.02
2026/12連予	167,000	2.9%	14,500	15,100	0.2%	11,500	108.56

サイバーセキュリティクラウド〈4493〉グロース

AI セキュリティ強化で成長加速、技術力にも注目

■Webセキュリティの国産プロダクトを展開

Web アプリケーション向けセキュリティサービスを展開。「攻撃遮断くん」「WafCharm」「CloudFastener」などを中心に、Web サイトやクラウド環境の防御・運用・脆弱性管理まで一気通貫で提供する。ストック収益比率は約 9 割と高く、継続課金型ビジネスを基盤に安定した収益を積み上げる事業モデルが特徴。国内外 100 カ国以上でサービスを提供し、AI 時代を見据えたセキュリティ領域の拡大を進めている。

■AIセキュリティ市場の拡大が追い風

26 年 12 月期第 1 四半期は売上高 13.93 億円(前年同期比 17.5%増)、営業利益 3.62 億円(同 50.6%増)と好スタート。AI 戦略を統括する「AI Trust Board」を新設したほか、AI セキュリティ分野への集中投資を打ち出し、AI エージェント向けセキュリティや AI ガードレールなど次世代サービスの開発を推進している。また、7 月には、WAF 自動運用サービス「WafCharm」が AWS の

売買単位	100 株
7/24 終値	1759 円
目標株価	2000 円
業種	情報・通信

「Small and Medium Business Competency」を国内独立系ソフトウェアベンダーとして初めて取得。技術力や導入実績が評価されたことで、中長期的な受注拡大にも期待が込める。株価は 75 日線を維持しつつ足下では 25 日線との攻防となっており、再び上昇基調へ回帰できれば 2000 円が目先のターゲットとなろう。

★リスク要因

サイバーセキュリティ需要の伸び鈍化や競争激化など。

4493:日足

75 日線はキープしつつ、25 日線との攻防。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/12単	2,275	-	385	395	-	306	32.61
2023/12連	3,060	-	549	559	-	427	45.28
2024/12連	3,857	26.0%	773	832	48.8%	575	62.36
2025/12連	5,084	31.8%	1,102	1,092	31.3%	821	81.84
2026/12連予	6,000	18.0%	1,200	1,200	9.9%	865	84.41

インフロニア・ホールディングス〈5076〉プライム

三井住友建設・水ingの統合、請負事業の強化と脱請負事業拡大で成長加速

■今期大幅な増収を見込む

前田建設工業等を傘下に持つ総合インフラサービス企業。26年3月期の売上高は1兆1248.78億円(前期比32.7%増)、事業利益は841.34億円(同73.3%増)で着地した。三井住友建設の完全子会社化が寄与したほか、建築事業、土木事業における手持ち工事の順調な進捗や完成工事での設計変更獲得、施工効率化が大幅な増益に貢献した。今期計画は、売上高1兆3660億円(前期比21.4%増)、事業利益800億円(同4.9%減)を見込む。三井住友建設の通年寄与等により大幅な増収を見込む一方、経営統合に伴う過渡的影響等を織り込む。

■M&Aのシナジー効果に注目

株価は2500円から3000円台へと大幅に切り上げ、直近7月10日に高値2963円を記録した。同社は中期経営計画2027の改訂版を開示し、27年度の事業利益目標1000億円、ROE12.0%を

売買単位	100 株
7/24 終値	2790.5 円
目標株価	3000 円
業種	建設

掲げた。三井住友建設、水ingのM&A効果やシナジー効果などによる独自利益成長要因への注目度が高まる局面となっている。配当方針は配当性向40%以上を提示し、政策保有株/純資産割合の0%も進める。中長期での成長性と資本効率向上を評価し、目標株価はまずは節目の3000円とする。

★リスク要因

案件形成遅れ、大型建設工事の進捗遅延など。

5076: 日足

2600円から3000円のレンジで横ばい推移。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連I	711,810	-	44,415	44,739	-	33,487	129.35
2024/3連I	793,264	11.4%	51,060	49,439	10.5%	32,571	130.51
2025/3連I	847,548	6.8%	47,148	49,756	0.6%	32,416	124.15
2026/3連I	1,124,878	32.7%	75,805	107,245	115.5%	76,573	295.46
2027/3連I予	1,366,000	21.4%	77,800	85,400	-20.4%	60,000	229.26

ヨコオ〈6800〉プライム

生成 AI やデータセンター向け製品が伸長、27 年 3 月期営業利益は 39.5%増予想

■回路検査用コネクタ事業が拡大

車載アンテナが主力の車載通信機器事業が売上高の 62%を占め、回路検査用コネクタ事業が 22%、電子機器用コネクタ・医療用機器事業が 13%となっている(26 年 3 月期)。伸びが顕著なのが回路検査用コネクタ事業。半導体検査用ソケットとプローブカード(半導体検査用治具)が主力製品で、生成 AI やデータセンター向けを中心に高付加価値分野での需要拡大が継続している。回路検査用コネクタ事業の売上構成比は 24 年 3 月期の 16%から 26 年 3 月期に 22%に上昇。さらに中期経営計画では 29 年 3 月期に 29%に高める計画となっている。

■半導体関連製品の生産能力増強へ

26 年 3 月期通期売上高は 900.90 億円(前期比 8.7%増)、営業利益は 50.16 億円(同 18.7%増)。27 年 3 月期通期売上高は 970.00 億円(前期比 7.7%増)、営業利益は 70.00 億円(同 39.5%

売買単位	100 株
7/24 終値	4395 円
目標株価	6510 円
業種	電気機器

増)予想。生成 AI 関連の需要が高水準で推移し、回路検査用コネクタ事業は前期比 37.7%増収・77.4%営業増益と大幅な伸びを見込んでいる。6 月 19 日には、半導体関連の需要を取り込むため、生産能力の拡大計画を発表している。株価は調整場面だが業績は好調だ。年初来高値 6510 円を目標株価としたい。

★リスク要因

自動車生産台数の動向など。

6800: 日足

好業績銘柄の調整場面は買い場探しの好機か。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/3連	77,962	16.6%	4,739	5,675	-13.1%	3,147	135.01
2024/3連	76,895	-1.4%	1,617	3,710	-34.6%	1,511	64.86
2025/3連	82,884	7.8%	4,226	3,926	5.8%	2,227	95.58
2026/3連	90,090	8.7%	5,016	5,528	40.8%	3,886	166.71
2027/3連予	97,000	7.7%	7,000	6,500	17.6%	4,500	193.05

古野電気〈6814〉プライム

主力船用事業の収益性向上と産業用分野の積極開発で成長加速へ

■1Q業績は想定を上回って推移

魚群探知機の世界初実用化から始まった船用電子機器の大手メーカー。27年2月期第1四半期の売上高は381.15億円(前年同期比21.8%増)、営業利益は56.81億円(同65.3%増)と想定を上回る推移となったようだ。船用事業の好調な需要環境に加えて、産業用事業でも特に防衛装備品の売上が大きく増加。サービス体制強化等、成長分野に向けた人財投資を中心に販管費は増加したものの、全事業における売上拡大がこれを吸収した。27年2月期通期計画は、売上高1485億円(前期比5.6%増)、営業利益170億円(同4.6%増)を見込む。

■産業用分野へ戦略投資を集中

株価は直近7000～8000円台で推移。同社は3カ年の中期経営計画で、最終年度(29年2月期)に売上高1500億円、営業利益率10%以上、ROE10%以上を掲げている。主力である船用事

売買単位	100 株
7/24 終値	7420 円
目標株価	8000 円
業種	電気機器

業の高収益化に加え、成長領域である保守サービスや防災・防衛などの産業用分野へ戦略投資を集中する。総還元性向40%相当の株主還元方針も示している。PBR2倍台・PER10倍台と評価が高まる中、引き続き上値追いを意識し、まずは節目の8000円の回復に期待する。

★リスク要因

半導体等部材の調達懸念や為替変動リスクなど。

6814: 日足

7月安値5600円から水準を切り上げる展開。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/2連	91,325	7.7%	1,523	2,593	-30.2%	1,348	42.72
2024/2連	114,850	25.8%	6,521	8,171	215.1%	6,240	197.61
2025/2連	126,953	10.5%	13,181	14,158	73.3%	11,457	362.64
2026/2連	140,616	10.8%	16,246	18,291	29.2%	16,735	529.53
2027/2連予	148,500	5.6%	17,000	17,000	-7.1%	13,000	411.28

三井ハイテック〈6966〉プライム

モーターコアやリードフレームなど手掛ける、第1四半期営業利益は27.8%増

■中期計画は下方修正だが足下業績は好調

電機部品(モーターコア)が売上高の69%を占め、電子部品(リードフレーム)が27%となっている。金型、工作機械も手掛ける(26年1月期)。モーターコアは、モーターを構成するローター(回転子)やステータ(固定子)の鉄心部分に当たる部品。車載用で世界トップシェア(同社調べ)。リードフレームは、半導体チップを支持固定する枠組み。外部配線との接続を行う役割も担う。電動車市場の成長鈍化と旧世代半導体市場の回復の遅れが影響し、今年3月に中期経営計画の28年1月期目標を下方修正したが、その後、6月に発表された足下の業績は好調だ。

■27年1月期業績予想は早くも上方修正

27年1月期第1四半期売上高は618.86億円(前年同期比13.2%増)、営業利益は44.33億円(同27.8%増)。旺盛な需要や円安が追い風となった。27年1月期通期売上高は2540億円(前

売買単位	100 株
7/24 終値	895 円
目標株価	1358 円
業種	電気機器

期比16.3%増)、営業利益は145億円(同14.6%増)予想。第1四半期決算発表と同時に、売上高を9%、営業利益を31%ほど前回予想からそれぞれ上方修正した。株価は調整局面となっているが、足下の業績は好調だ。年初来高値1358円を目標株価としたい。

★リスク要因

円相場の急激・大幅な変動など。

6966:日足

株価は業績予想上方修正前の水準
近辺にまで調整。



(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2023/1連	174,615	25.2%	22,586	22,669	44.6%	17,581	480.99
2024/1連	195,881	12.2%	18,119	21,733	-4.1%	15,545	425.30
2025/1連	214,890	9.7%	16,017	16,943	-22.0%	12,219	66.86
2026/1連	218,329	1.6%	12,651	13,815	-18.5%	3,151	17.25
2027/1連予	254,000	16.3%	14,500	14,500	5.0%	10,000	54.72

朝日インテック〈7747〉プライム

ガイドワイヤーなど医療機器が主力、26 年 6 月期営業利益は 40.4%増の見込み

■PCIガイドワイヤーの世界シェア50%以上

医療機器分野が売上高の 96.5%を占め、産業機器分野が 3.5% (25 年 6 月期)。医療機器分野は、冠動脈にバルーンカテーテルを挿入し狭窄部分を拡げる治療法(PCI)に使われる PCI ガイドワイヤーが主力。世界 120 カ国以上で販売し、海外売上高比率は 77.4% (同)。グローバルシェアは 50%以上を誇る。PCI 治療は新興国で拡大しており、グローバル展開していることが強みとなっている。また、テルモ<4543>などヘミガイドワイヤーなどの OEM (相手先ブランドによる製造)、ODM (相手先ブランドによる設計・製造) 供給も行う。産業機器分野では、伸線技術を生かしたステンレスワイヤーやワイヤーロープなどを手掛ける。

■医療機器が世界全地域で好調

26 年 6 月期第 3 四半期累計の売上高は 1083.66 億円 (前年同期比 18.0%増)、営業利益は 374.14 億円 (同 45.5%増)。需要拡

売買単位	100 株
7/24 終値	3379 円
目標株価	3941 円
業種	精密機器

大などにより医療機器が全地域で好調。生産性改善もあり収益が伸びている。26 年 6 月期通期売上高は 1411.42 億円 (前期比 17.6%増)、営業利益は 422.20 億円 (同 40.4%増) の見込み。決算発表は 8 月 14 日の予定。株価はやや調整局面だが業績は好調だ。年初来高値 3941 円を目標株価としたい。

★リスク要因

円相場の急激・大幅な変動など。

7747: 日足

株価は調整局面だが長期上昇相場は継続。



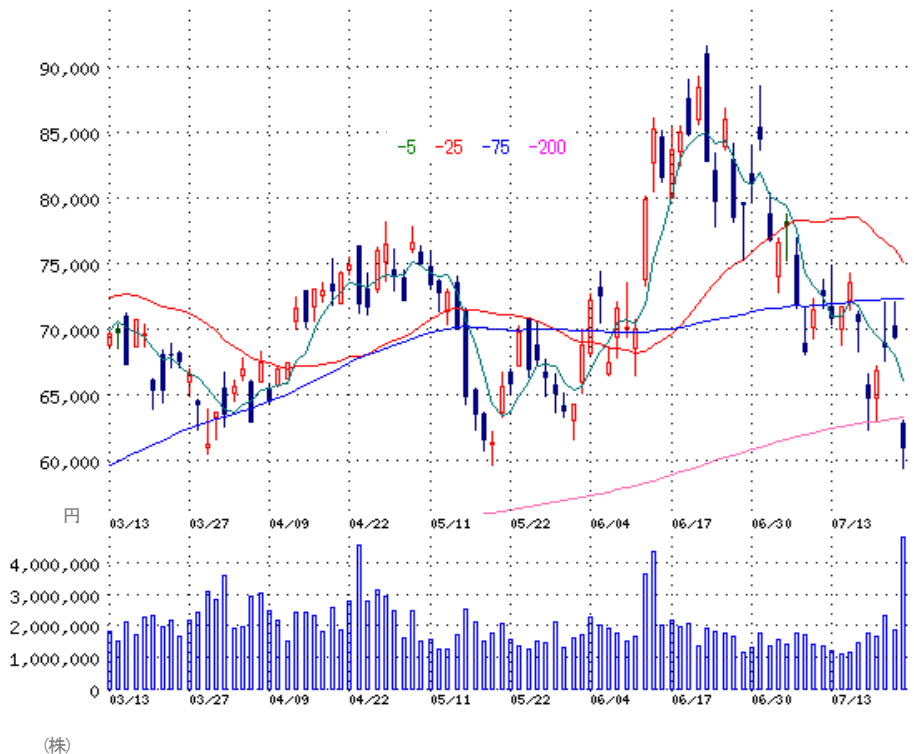
(百万円)

会計期	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益(円)
2022/6連	77,748	26.4%	15,239	16,326	23.7%	10,857	40.01
2023/6連	90,101	15.9%	18,030	17,635	8.0%	13,106	48.25
2024/6連	107,547	19.4%	22,135	21,968	24.6%	15,808	58.20
2025/6連	120,025	11.6%	30,079	29,563	34.6%	12,737	46.92
2026/6連予	141,142	17.6%	42,220	42,688	44.4%	30,556	114.88

ディスコ プライム〈6146〉／決算発表を受けて先週末は大幅安に

先週末は大幅反落。23日に第1四半期の決算を発表、営業利益は490億円で前年同期比42.2%増となったが、個別売上高は先に公表しており、想定範囲内と捉えられる。一方、7-9月期の計画は559億円の水準となっているが、コンセンサスは600億円強の水準であったため、下振れる格好に。半導体株安の流れも逆風となって、ネガティブ反応が先行する形へ。

同社のガイダンスは毎回保守的なものであり、7-9月期の見通し下振れはそれほどネガティブ視する必要はないだろう。AI・半導体株のリバウンドに関心が向かえば、追従の動きが想定される。その意味では、今週関連銘柄の決算発表が相次いで行われる。発表前は警戒感が先行しそうだが、発表後にあく抜け感が優勢となる動きも今後は散見されてくる見通し。なお、3月、5月安値の60000円レベルは下値支持線とも意識される。



オービック プライム〈4684〉／好決算発表だが相場の物色動向に流されやすい状況

22日に第1四半期決算を発表、営業利益は249億円で前年同期比15.7%増となり、据え置きを通期予想980億円、前期比10.3%増に対して順調な進捗となっている。SIは大型プロジェクトの増加やAI活用による生産性改善で2ケタの売上成長、システムサポートも大口顧客の増加などによって売上拡大が加速している。ただ、先に観測報道も伝わっておりサプライズは限定的、23日はAI関連に資金が向かったことも逆風となり、買い先行後に伸び悩む展開となっている。

決算数値自体はポジティブと判断され、先週末はAI株安の中で見直しの動きが優勢となった。今後もAI・半導体関連株の動きと対照的な動きになりやすいだろう。今週は情報サービスセクター大手の決算のほか、AI関連の主力処の決算発表も多い。日々物色の方向性は変化する可能性があり、方向感の定めにくい展開が続こう。



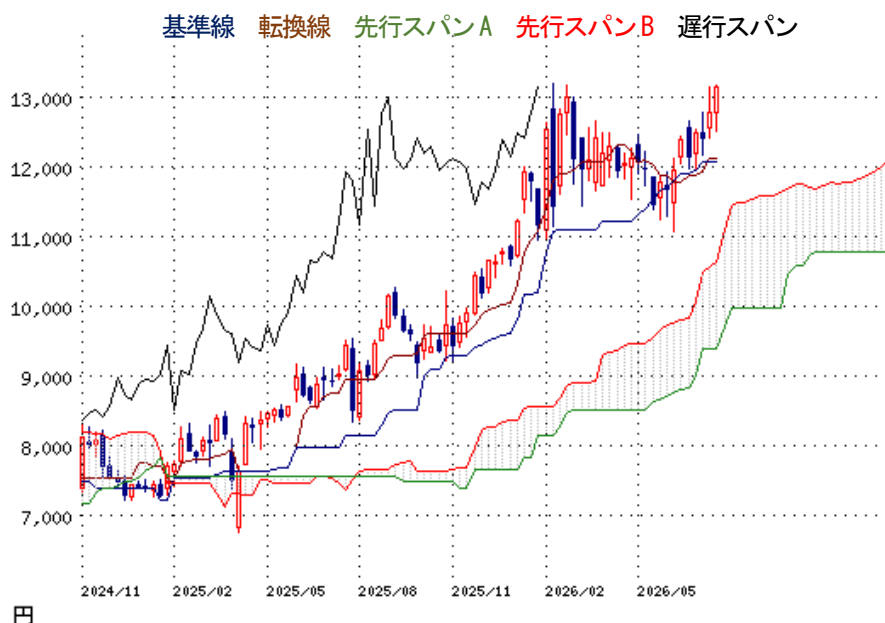
SANKYO 東証プライム<6417>

日足ベースのローソク足。先週末は3本連続陽線で終了。高値、安値、終値をそろって切り上げる「赤三兵」を出現して強い上値追い圧力を窺わせた。先週末は75日移動平均線超えまで上ヒゲを伸ばした。前回のザラ場高値75日線超え(1月13日)は25日線が下降中とあってダマシに終わったが、今回は25日線が右肩上がりで推移しており、75日線を上放れて上値を伸ばす展開が期待できよう。



大和工業 東証プライム<5444>

週足ベースの一目均衡表。先々週は転換線が基準線を上抜いて三役好転の強気形状が完成。先週はローソク足が上ヒゲの短い「陽の大引け坊主」に近い形状を描いたほか、週間安値を4週連続で下値を切り上げ、強い買い気配を窺わせた。上昇基調にある基準線が上値追い継続を示唆しており、先週高値から25円上の上場来高値(2月12日、13205円)を抜いて上値を拡張していく展開が期待できよう。



テーマ別分析:フィジカル AI で物流現場の変革加速へ

■物流施設や物流企業への投資を拡大する動きも

EC 市場の拡大やサプライチェーンの高度化、人手不足などを背景に、物流業界では自動化・省人化に向けた投資が続いている。政府も成長戦略の柱としてフィジカル AI を掲げ、物流分野を重点領域の一つに位置付けており、自動搬送設備や AI、ロボットなどを活用した物流現場の変革が加速しそうだ。

足元では物流施設や物流企業への投資を拡大する動きもみられ、中長期的な市場拡大への期待は根強い。物流 DX や自動搬送設備、RFID などの技術を有する関連企業にも追い風となる可能性がある。下表では、主な物流自動化関連銘柄を掲載している。

■主な「物流自動化」関連銘柄

コード	銘柄略称	市場	7/24 株価 (円)	概要
2327	日鉄ソリューションズ	プライム	3800	物流・SCM向けシステム開発を手掛ける。
2354	YE DIGITAL	スタンダード	1600	倉庫自動化システムや物流DXサービスを展開。
3626	TISI	プライム	3490	物流DXやSCM分野のシステム構築を支援。
3694	オプティム	プライム	386	AI・IoTを活用し物流など現場業務のDXを支援。
6273	SMC	プライム	70970	自動化設備に用いられる空圧制御機器を展開。
6383	ダイフク	プライム	6202	自動倉庫や無人搬送車、仕分けシステムなどを展開。
6501	日立	プライム	4850	Lumadaを軸に物流DXや搬送自動化を支援。
6507	シンフォニアT	プライム	14300	半導体向け自動搬送装置や振動搬送機器などを展開。
6522	アスタリスク	グロース	1690	RFIDやバーコードを活用し、物流・小売りなどの業務DXを支援。
6645	オムロン	プライム	5479	AMRや制御・センシング機器で物流現場の自動化を支援。
6702	富士通	プライム	3279	物流情報の可視化や配車・サプライチェーン最適化を支援。
8056	BIPROGY	プライム	4622	物流・ロジスティクス向けシステムやSCM支援サービスを展開。
9065	山九	プライム	9230	物流・構内作業を手掛け、現場の自動化・省人化を推進。
9143	SGHD	プライム	1588.5	佐川急便親会社。AIやロボットを活用した物流DXを推進。
9147	NXHD	プライム	5493	日本通運親会社。物流拠点への自動化設備導入やDXを推進。

出所：フィスコ作成

高値から半値以下まで調整している大型株

■本格化する決算発表が見直しのきっかけにも

今週は国内外で主力企業の決算発表が一段と本格化する。米国ではハイパースケーラーの決算発表が重なるほか、韓国ではサムスン電子やSKハイニックスが発表予定、国内でも半導体関連やAIインフラ関連銘柄などの決算が目白押しとなる。とりわけ、AI・半導体関連株は足元で株価の下落基調が強まっているが、こうした決算発表が見直しのきっかけにつながっていく可能性も残ると考えられる。株価調整が大きくなっている銘柄などは、リバウンドに向かう際の反発余地が相対的に大きいと期待される。

スクリーニング要件としては、①過去120日高値と現在株価乖離率が100%以上、②時価総額1000億円以上。

■株価が高値から半値となった大型株

コード	銘柄	市場	7/24株価 (円)	時価総額 (億円)	株価乖離率 (%)	株価騰落率 (%)	予想 1株利益 (円)
186A	アストロスケールHD	グロース	1,026.0	1394.4	193.86	17.39	—
1885	東亜建設工業	プライム	2,038.0	1793.0	129.64	-33.07	187.54
285A	キオクシアHD	プライム	56,010.0	305862.8	101.21	193.55	—
3110	日東紡績	プライム	3,195.0	6026.3	105.95	-14.75	466.97
3350	メタプラネット	スタンダード	223.0	2547.3	125.56	-24.15	—
3449	テクノフレックス	スタンダード	4,925.0	1052.0	118.07	101.02	223.40
4107	伊勢化学工業	スタンダード	3,580.0	1838.4	136.03	-31.55	105.97
4506	住友ファーマ	プライム	1,284.5	5111.0	155.97	-38.11	172.89
6366	千代田化工建設	スタンダード	707.0	3077.7	158.84	-20.83	26.70
6740	ジャパンディスプレイ	プライム	47.0	1823.8	248.94	-34.72	—
6976	太陽誘電	プライム	11,415.0	14864.4	110.82	209.01	143.94
7220	武蔵精密工業	プライム	3,025.0	1983.8	248.76	15.37	99.18
9412	スカパーJSAT	プライム	2,213.0	6587.7	113.29	-23.51	95.26

(注) 株価騰落率は3月末比

出所：フィスコアプリより作成

通期計画に対して進捗率が高い銘柄

■今後の業績上方修正期待を背景に見直し買いが入る可能性も

東海東京インテリジェンス・ラボは、通期計画に対して進捗率が高い銘柄に着目している。2月期本決算企業の26年3-5月期（第1四半期）決算は、総じて堅調な内容だった一方、この段階で業績予想を修正する企業は少なかったと指摘。今後の上方修正余地を見極めるには、通期計画に対する進捗率や事業環境を総合的に評価する必要があると考察している。そこで同証券では、東証プライム市場の2月期本決算企業を対象に、第1四半期時点の営業利益進捗率が高い銘柄を抽出している。足元ではAI・半導体関連に資金が集中する一方、内需関連には出遅れ感がみられており、堅調な業績を確認した企業には、今後の業績上方修正期待を背景に見直し買いが入る可能性があるとしている。

「2月期本決算企業における営業利益進捗率(対通期会社計画)の高い銘柄」(東海東京インテリジェンス・ラボ)

銘柄コード	銘柄略称 (QUICK略称)	業種名 (東証33業種)	営業利益		営業利益 進捗率 (対会社予想)
			26年3-5月期 実績	27年2月期 会社予想	
3333	あさひ	小売業	30.9億円	43.0億円	72.0%
8185	チヨダ	小売業	9.4億円	14.0億円	67.5%
9740	CSP	サービス業	18.9億円	35.0億円	54.3%
9601	松竹	情報・通信業	17.2億円	37.0億円	46.7%
2685	アンドエスティ	小売業	78.7億円	172.0億円	45.8%
2882	イートアンドH	食料品	5.7億円	12.5億円	45.6%
7516	コーナン商事	小売業	101.5億円	230.0億円	44.1%
8016	オンワードHD	繊維製品	56.4億円	128.0億円	44.1%
7545	西松屋チェ	小売業	53.2億円	125.4億円	42.4%
3612	ワールド	繊維製品	72.9億円	175.0億円	41.7%
4763	クリーク&リバ	サービス業	22億円	54.5億円	40.4%
8570	イオンFS	その他金融業	174.8億円	450.0億円	38.9%
2935	ピククルスHD	食料品	6.9億円	18.2億円	38.2%
3387	クリレスHD	小売業	33.7億円	90.0億円	37.5%
8237	松屋	小売業	6.6億円	18.0億円	36.7%

出所: QUICK より東海東京インテリジェンス・ラボ作成、営業利益予想進捗率の高い順に掲載

AI・半導体関連の下落に伴う相場変動のなか持ち高解消

7月17日時点の2市場信用残高は、買い残高が224億円減の6兆7097億円、売り残高が1141億円減の6814億円。買い残高が3週連続の減少、売り残高は2週間ぶりの減少となった。また、買い方の評価損益率は-4.95%から-10.45%、売り方の評価損益率は25.44%から19.80%に。なお、信用倍率は8.46倍から9.85倍となった。

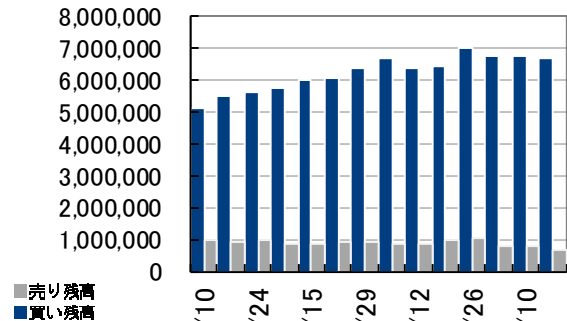
この週（7月13日-17日）の日経平均は前週末比4416.61円安の64141.12円。週初は大幅安スタート。イランの革命防衛隊がホルムズ海峡の再封鎖を宣言、米国もイランへの攻撃を実施するなど、中東情勢悪化への警戒感が再燃した。また、韓国市場で半導体株が大きく下落したことも相場を冷やした。週後半もAI・半導体関連株が主導して大きく下げる展開に。16日には台湾TSMCが市場予想を上回る決算を発表したものの株価が下落し、AI関連株に対する過熱警戒感があらためて強まる形にもなった。週末もAI・半導体株を中心に大幅下落、歴代5番目の下げ幅を記録した。

個別では、リコー<7752>の信用倍率は0.18倍と、前週の2.39倍から売り長の需給状況になった。5月に上限250億円の自社株取得・消却を発表しているが、足もとで順調に買い付けを進めていることが明らかになるなかでリバウンド基調を継続しており、買い方の利益確定の売りに対して新規売りが積み上がっている。サイゼリヤ<7581>の信用倍率は3.54倍となり、前週の14.89倍から取り組みが改善。7月15日に発表した決算が好感されてストップ高まで急伸する局面で、売り買いともに残高が積み上がっている。また、吉野家HD<9861>の信用倍率は0.12倍と、前週の0.24倍から一段と売り長の需給になった。同社も8日に発表した決算評価が続いているほか、その後も自社株買いや米ラーメン店の買収など相次ぐ材料が好感され、買い方の利益確定に対して新規売りが積み上がった形である。

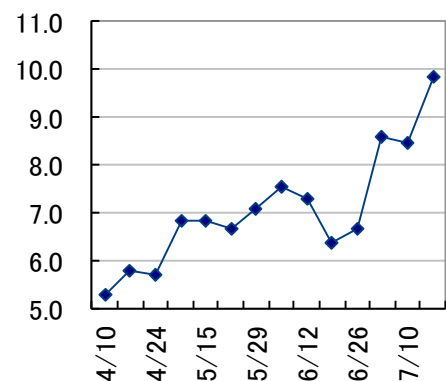
取組みが改善した銘柄

コード	市場	銘柄	7/24終値 (円)	信用買残 (7/17:株)	信用売残 (7/17:株)	信用倍率 (7/17:倍)	信用買残 (7/10:株)	信用売残 (7/10:株)	信用倍率 (7/10:倍)
4432	プライム	ウイングアーク	2,831.0	331,400	914,300	0.36	334,600	5,100	65.61
7752	プライム	リコー	1,556.5	250,900	1,422,500	0.18	440,700	184,700	2.39
7581	プライム	サイゼリヤ	7,430.0	655,600	185,000	3.54	470,600	31,600	14.89
8200	プライム	リングハット	2,294.0	47,800	806,600	0.06	82,200	617,700	0.13
7453	プライム	良品計画	4,202.0	634,000	632,800	1.00	1,001,600	481,700	2.08
9861	プライム	吉野家HD	3,612.0	66,600	551,700	0.12	97,700	411,500	0.24
9101	プライム	郵船	5,946.0	1,490,000	360,500	4.13	1,896,300	235,500	8.05
9842	プライム	アークランズ	1,899.0	140,800	992,700	0.14	176,000	648,400	0.27
7936	プライム	アシックス	4,793.0	427,300	605,900	0.71	684,500	515,900	1.33
3563	プライム	F&LC	5,428.0	601,100	342,800	1.75	782,600	241,100	3.25
3697	プライム	SHIFT	807.0	11,482,300	3,606,500	3.18	12,995,000	2,290,000	5.67
2914	プライム	JT	6,461.0	1,553,200	213,800	7.26	1,980,600	153,100	12.94
7309	プライム	シマノ	18,570.0	24,800	89,300	0.28	36,600	77,300	0.47
3994	プライム	マネフォワード	5,407.0	138,400	893,200	0.15	191,700	788,300	0.24
5108	プライム	ブリヂストン	3,716.0	539,800	569,400	0.95	735,800	505,900	1.45

信用残高 金額ベース 単位：百万円



信用倍率 (倍)



コラム:トルコリラの悩ましい材料

最安値更新中のトルコリラ相場で、政治日程が新たな焦点に加わりそうです。2028 年に予定される次期大統領選・総選挙を巡り、前倒し実施の観測が広がっているためです。エルドアン政権がさらに長期化する場合、リラにどのような影響を与えるでしょうか。

トルコの最大野党・共和人民党(CHP)のオゼル前党首は 7 月 21 日、新党を結成する考えを表明しました。裁判所が党首交代を命じたことを受けた決断で、党大会の有効性を巡る司法判断が野党の混乱に拍車を掛けています。それにより最大野党の分裂は避けられない見通しです。このまま野党勢力の結束が揺らげば、エルドアン政権にとって有利な政治環境が醸成される可能性があります。

次期大統領選・総選挙は 2028 年までに実施される予定ですが、以前から前倒し実施の観測がくすぶっています。背景にあるのは、エルドアン大統領の任期。現行憲法では大統領は原則 2 期 10 年までと定められており、現在の任期が最後となるためです。一方、議会が任期途中で早期選挙を決めた場合は再出馬できるとの規定があり、前倒し論が繰り返し取り沙汰されてきました。

エルドアン氏は 2017 年の憲法改正で議院内閣制から大統領制へ移行した際、2018 年以降を「新制度での 1 期目」との独自解釈で現在の政権運営を続けてきました。今回も同様に、憲法改正や早期選挙を通じて続投への道筋を探るのではないかとの見方が波紋を広げています。野党の混乱が深まるなか、選挙が前倒しされる事態となれば、国際金融市場も無視できなくなります。

次期選挙で仮に野党勢力が再結集して政権交代を実現すれば、市場の見方は一変するとみられます。海外投資家は中央銀行の独立性回復やインフレ抑制を重視しており、金融・財政運営への信認が高まれば、海外資金の流入を通じてリラ買いが強まる展開となるでしょう。半面、新政権が経済改革を着実に進められるかは未知数で、政策運営への期待が失われれば、リラ高は一時的に終わる可能性もあります。

逆に、エルドアン政権続投なら、前回 2023 年と同様にリラ売りを強めるでしょう。金融政策への政治介入が改めて警戒されるためです。ただ、エルドアン氏が現在の引き締め路線を維持し、財政規律や市場重視の政策を続けるのであれば、政治の安定を評価した資金流入も期待できるかもしれません。その際には選挙後に従来型の政策へ戻るのか、現行の経済運営を保つのか、リラの方向を決めることになります。

※あくまでも筆者の個人的な見解であり、弊社の見解を代表するものではありません。

1	スケジュール	経済カレンダー	2-4
		決算カレンダー	5-9
2	レーティング	格上げ・買い推奨	10
		格下げ・売り推奨	11
3	投資主体別売買動向	総括コメント	
		市場別データ	
4	新規上場銘柄	結果とスケジュール	12
5	一目均衡表雲抜け銘柄	雲上抜け銘柄（プライム）	13
		雲下抜け銘柄（プライム）	14

7月27日～7月31日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
7月27日	月	08:50	企業向けサービス価格指数(6月)
		10:30	中・工業利益(6月)
		14:00	景気一致指数(5月)
		14:00	景気先行CI指数(5月)
		17:00	ブ・FIPE消費者物価指数(先週)
		17:00	欧・ユーロ圏マネーサプライ(6月)
		17:00	独・IFO企業景況感指数(7月)
		20:00	ブ・FGV消費者信頼感(7月)
		20:25	ブ・週次景気動向調査
		21:30	米・耐久財受注(6月)
		27:00	ブ・貿易収支(先週)
7月28日	火	11:30	片山財務相が金融イベントに参加
		14:00	消費者物価のコア指標(日銀)
		15:00	国際協力銀行(JBIC)総裁が定例会見
		15:30	日本取引所グループの山道CEOが定例会見
		19:30	印・鉱工業生産(6月)
		20:00	ブ・FGV建設コスト(7月)
		20:30	ブ・経常収支(6月)
		20:30	ブ・海外直接投資(6月)
		21:00	ブ・拡大消費者物価指数(IPCA-15)(7月)
		21:30	米・卸売在庫(6月)
		22:00	米・S&PCS20都市住宅価格指数(5月)
		22:00	米・FHFA住宅価格指数(5月)
		23:00	米・消費者信頼感指数(7月)
			米・連邦公開市場委員会(FOMC)(29日まで)
7月29日	水	10:10	国債買い入れオペ(残存3-5年、残存25年超、物価連動債)(日本銀行)
		10:30	豪・消費者物価指数(6月)
		15:00	工作機械受注(6月)
		27:00	米・連邦公開市場委員会(FOMC)が政策金利発表
			ビーエイブルが東証スタンダードに新規上場(公開価格:700円)
			アイ・グリッド・ソリューションズが東証グロースに新規上場(公開価格:770円)
			米・FOMC終了後、ウォーシュ連邦準備制度理事会(FRB)議長が記者会見

7月27日～7月31日※全て日本時間で表示

日付	曜日	時間	内容
7月30日	木	08:50	対外・対内証券投資(先週)
		14:00	消費者態度指数(7月)
		17:00	独・GDP速報値(4-6月)
		18:00	欧・ユーロ圏景況感指数(7月)
		18:00	欧・ユーロ圏消費者信頼感指数(7月)
		18:00	欧・ユーロ圏失業率(6月)
		18:00	欧・ユーロ圏GDP速報値(4-6月)
		20:00	ブ・FGVインフレ率IGPM(7月)
		20:00	英・イングランド銀行(英中央銀行)が政策金利発表
		20:30	ブ・ローン残高(6月)
		20:30	ブ・融資残高(6月)
		20:30	ブ・個人ローン・デフォルト率(6月)
		21:00	ブ・全国失業率(6月)
		21:00	独・CPI(7月)
		21:00	メキシコ・GDP(4-6月)
		21:30	米・新規失業保険申請件数(先週)
		21:30	米・GDP速報値(4-6月)
		21:30	米・個人所得(6月)
		21:30	米・個人消費支出(6月)
		21:30	米・個人消費支出(PCE)価格コア指数(6月)
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(1日目)
7月31日	金	08:30	失業率(6月)
		08:30	有効求人倍率(6月)
		08:30	東京CPI(7月)
		08:50	鉱工業生産(6月)
		08:50	小売売上高(6月)
		08:50	百貨店・スーパー売上高(6月)
		10:30	中・製造業PMI(7月)
		10:30	中・非製造業PMI(7月)
		10:30	中・総合PMI(7月)
		14:00	住宅着工件数(6月)
		15:30	植田日銀総裁が会見
		16:55	独・失業率(失業保険申請率)(7月)
		18:00	欧・ユーロ圏CPI(7月)
		19:30	印・財政赤字(6月)
		20:30	印・外貨準備高(先週)
		20:30	ブ・基礎的財政収支(6月)
		20:30	ブ・純債務対GDP比(6月)
		21:30	米・雇用コスト指数(4-6月)
		23:00	米・ミシガン大学消費者マインド指数確報値(7月)
			日銀政策委員会・金融政策決定会合(2日目)、終了後決定内容発表
			印・銀行貸出残高(6月)

■(豪)6月消費者物価指数(CPI)**7月29日(水)午前10時30分発表予定**

(予想は、前年比+4.1%) インフレ率の加速が見込まれており、オーストラリア準備銀行(中央銀行)の追加利上げ観測を左右する重要な指標となる。市場予想を上回れば豪ドル買いが強まりやすい一方、物価上昇圧力の鈍化が示されれば、豪ドルの上値を抑える要因となりそうだ。

■(英)イングランド銀行(英中央銀行)政策金利発表**7月30日(木)午後8時発表予定**

(予想は、3.75%に据え置き) 足下のインフレ率は鈍化しているものの、エネルギー価格上昇による物価の再加速が警戒されており、今回は据え置きが有力視されている。政策委員の投票結果や金融政策報告書で追加利上げに前向きな姿勢が示されれば、債券買い、景気下振れへの懸念が強調されれば債券売りが進みやすい。

■(米)6月個人消費支出(PCE)デフレーター・4-6月期実質国内総生産(GDP)速報値**7月30日(木)午後9時30分発表予定**

(予想は、PCEデフレーターは前年同月比+3.6%、GDP速報値は前期比年率+2.3%) 米連邦準備制度理事会(FRB)が最重視する物価指標と景気の強さを同時に確認できる組み合わせ。PCEが予想を上回る鈍化となり、GDPも底堅ければ、「ソフトランディング+利上げ後退」という理想的な解釈が広がりドル売り・株高につながりやすい。一方、物価が高止まりし景気も強ければ早期利上げ観測から、FOMC後の市場心理と相互に影響しあいながら激しい値動きが続く可能性がある。

■(日)日銀政策委員会・金融政策決定会合**7月31日(金)正午頃発表予定**

(予想は、1.00%に据え置き) 前回6月会合で利上げを実施したことから、今回は据え置きが有力視されている。焦点は、同時に公表される展望レポートの内容と、植田総裁の会見で追加利上げの時期にどの程度踏み込むかだろう。早期利上げに前向きな姿勢が示されれば円買い、具体的な利上げ時期を示さなければ円売りが強まる可能性がある。

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月27日	1718	美樹工業	スタンダード	15:30	7月29日	3793	ドリコム	グロース	15:30
	2767	円谷フィールズHD	プライム			3839	ODK	スタンダード	15:40
	3132	マクニカHD	プライム	15:00		3850	NTTDIM	スタンダード	15:30
	3635	ユーエテック	プライム	16:00		3911	Aiming	グロース	15:30
	4366	ダイトニ	スタンダード	14:00		3969	イトレッド	スタンダード	15:30
	4373	シンプлексH	プライム	15:30		4091	日本酸素	プライム	15:00
	4644	イマジニア	スタンダード			4205	ゼオン	プライム	11:00
	4765	SBIGアセット	プライム			4362	日精化	プライム	16:00
	4956	コニシ	プライム	15:00		4461	一工業	プライム	16:00
	5911	横河HD	プライム	15:30		4722	フューチャー	プライム	17:00
	6230	SANEI	スタンダード	12:00		4812	電通総研	プライム	15:30
	7299	オーゼックス	スタンダード	16:00		5344	MARUWA	プライム	10:00
	7751	キャノン	プライム	15:30		5609	日鑄造	スタンダード	15:30
	7949	小松ウオル	プライム	15:30		5834	SBIリーシング	グロース	11:00
	9081	神奈交	プライム	15:30		5906	MK精工	スタンダード	15:00
	9533	邦ガス	プライム	11:40		6161	エスティック	スタンダード	15:00
7月28日	1930	北電事	プライム	13:00		6301	コマツ	プライム	14:30
	1934	ユアテック	プライム	12:00		6349	小 森	プライム	15:30
	2211	不二家	プライム	15:30		6382	トニエ	スタンダード	15:00
	3003	ヒューリック	プライム	11:00		6501	日 立	プライム	15:30
	3199	綿半HD	プライム	15:30		6526	ソノネクト	プライム	15:00
	3771	システムイサーチ	プライム	15:00		6586	マキタ	プライム	15:30
	3778	さくら	プライム			6701	NEC	プライム	15:30
	4290	P I	プライム	16:00		6807	航空電	プライム	15:30
	4479	マクアケ	グロース	15:30		6822	大井電気	スタンダード	15:30
	5279	日興業	スタンダード	16:00		6857	アドバンテ	プライム	15:30
	5471	大特鋼	プライム	16:00		6955	FDK	スタンダード	15:00
	5532	リアルゲイト	グロース	15:30		6961	エプラス	プライム	15:30
	6337	テセック	スタンダード	15:30		7276	小糸製	プライム	15:00
	6436	アマノ	プライム	15:00		7995	バルカー	プライム	15:30
	6798	SMK	プライム	13:00		8137	サンテックス	プライム	15:30
	6861	キーエンス	プライム	16:00		8366	滋賀銀	プライム	15:00
	6988	日東電	プライム	16:00		8377	ほくほく	プライム	14:00
	7102	日車輛	プライム	15:40		8572	アコム	スタンダード	15:30
	7191	イトラスト	スタンダード	15:30		8604	野村HD	プライム	15:30
	7309	シマノ	プライム	15:30		8706	極東証券	プライム	11:25
	7477	ムラキ	スタンダード	16:00		8708	アイザワ証G	プライム	14:00
	7646	PLANT	スタンダード	13:00		8914	エリアリンク	スタンダード	12:00
	7735	スクリン	プライム	15:35		9115	明海G	スタンダード	13:00
	8218	コメリ	プライム	15:30		9202	ANA	プライム	15:30
	8367	南都銀	プライム	16:00		9307	杉村倉	スタンダード	
	8537	大光銀	スタンダード	16:00		9474	ゼンリン	プライム	16:00
	8617	光世証	スタンダード	14:00		9501	東電力HD	プライム	16:00
	8628	松井証	プライム	11:30		9502	中部電	プライム	16:00
	8697	JPX	プライム	12:00		9505	北陸電	プライム	15:30
	8714	池田泉州	プライム	14:00		9506	東北電	プライム	15:00
	8892	エスコン	プライム	15:00		9551	メグオーター	プライム	15:30
	9267	ケンキドラ	プライム	15:30		9698	クレオ	スタンダード	15:30
	9691	両毛シス	スタンダード	15:00		9914	植松商	名証メイン	15:00
	9697	カブコン	プライム	15:40		9932	杉本商	プライム	11:00
	9782	ディーエムエス	スタンダード	15:30		9991	ジユス	プライム	15:00
7月29日	1850	南海辰村	スタンダード	14:00	7月30日	1803	清水建	プライム	13:00
	1944	きんでん	プライム	15:30		1959	クラフティ7	プライム	15:00
	1946	トエネク	プライム	15:00		2002	日清粉G	プライム	15:30
	2175	SMS	プライム	15:30		2060	フィード・ワン	プライム	15:30
	2359	コ ア	プライム	15:00		2127	日本M&A	プライム	15:00
	2491	Vコアス	プライム	16:00		2229	カルビー	プライム	12:00
	2664	カチ薬品	プライム	15:30		2317	システナ	プライム	16:00
	2760	東エレクトバ	プライム	15:30		2327	NSSOL	プライム	15:30
	3636	三菱総研	プライム	16:00		2393	日本ケア	スタンダード	15:30

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月30日	2579	ココーラBJH	プライム	15:00		7022	サノヤスHD	スタンダード	15:30
	2811	カゴメ	プライム	15:00		7148	FPG	プライム	16:00
	2914	J T	プライム	15:30		7185	ヒロ通商	スタンダード	
	299A	クラシル	グロース	15:30		7241	フタバ	プライム	16:00
	3231	野村不HD	プライム	15:30		7278	エッセイ	プライム	16:00
	3496	アズーム	プライム	15:30		7283	愛三エ	プライム	15:00
	3626	TISI	プライム	15:30		7381	CCIG	プライム	13:00
	3648	AGS	スタンダード	16:00		7419	ノジマ	プライム	08:00
	4107	伊勢化	スタンダード	15:30		7570	橋本総HD	スタンダード	
	4212	積水樹	プライム	16:00		7575	日本ライフL	プライム	15:40
	4221	大倉工	プライム	12:00		7600	日本MDM	プライム	15:00
	4229	群栄化	プライム	11:00		7687	ミクリド	グロース	16:00
	4262	コフエイワ	グロース	08:00		7774	J・TEC	グロース	10:00
	4307	NRI	プライム	15:30		7908	KIMOTO	スタンダード	17:00
	4308	Jストリーム	グロース	15:30		7919	野崎印	スタンダード	15:00
	4345	シーティーエス	プライム	13:00		7962	キングジム	プライム	16:00
	4347	プロメディア	スタンダード	15:00		7971	東 リ	スタンダード	14:00
	4498	サイハトラスト	グロース	15:00		7976	菱鉛筆	プライム	15:30
	4502	武 田	プライム	15:30		7981	効ラスカ	プライム	12:00
	4552	JCRファーマ	プライム	15:00		8014	蝶 理	プライム	15:00
	4569	杏林製薬	プライム	15:30		8030	中央魚	スタンダード	16:00
	4582	シバイ	グロース			8035	東エルク	プライム	16:00
	4661	OLC	プライム	16:00		8174	日ガス	プライム	15:30
	4679	田 谷	スタンダード	09:00		8285	三谷産	スタンダード	12:00
	4902	コカミルタ	プライム	15:00		8309	三住トラスト	プライム	
	5333	NGK	プライム	15:00		8336	武蔵銀	プライム	12:00
	5449	大阪製鉄	スタンダード	17:00		8343	秋田銀	プライム	14:00
	5484	東北鋼	スタンダード	16:00		8345	岩手銀	プライム	14:00
	5819	カレ電気	スタンダード	16:00		8349	東北銀	スタンダード	13:00
	5832	ちゅうぎ	プライム	14:00		8411	みずほ	プライム	15:30
	5909	コロナ	スタンダード	15:00		8424	芙蓉リース	プライム	16:00
	5936	洋 シヤタ	スタンダード	16:00		8425	ミズホリース	プライム	15:30
	5992	中発条	スタンダード	14:00		8550	栃木銀	プライム	15:00
	5994	ファイジンター	スタンダード	16:00		8609	岡 三	プライム	11:00
	6080	M&Aキャピ	プライム	15:30		8613	丸三証	プライム	12:00
	6101	ツガミ	プライム	13:00		8614	東洋証	プライム	16:00
	6196	ストライクG	プライム	15:30		8622	水戸証	プライム	13:00
	6305	日立建	プライム	15:30		8624	いちよし	プライム	13:00
	6345	アイチコーポ	プライム	15:40		8699	HSHD	スタンダード	16:00
	6364	AIRMAN	プライム	13:00		8818	京阪神ビ	プライム	15:00
	6371	樺本チ	プライム	15:00		8864	空港施設	スタンダード	15:00
	6419	マースGHD	プライム	16:00		9003	相鉄HD	プライム	14:00
	6454	マックス	プライム	15:30		9037	ハマキョウ	プライム	16:00
	6470	大豊工業	スタンダード	14:00		9044	NANKAI	プライム	14:00
	6471	日精工	プライム	15:30		9046	神電鉄	スタンダード	
	6504	富士電機	プライム	15:30		9158	シーユーシー	グロース	15:30
	6516	山洋電	プライム	11:00		9362	兵機海	スタンダード	16:00
	6617	東光高岳	プライム	14:00		9368	キムラユニティー	スタンダード	11:00
	6659	メディアリンク	スタンダード	15:30		9413	テレ東HD	プライム	16:00
	6663	太洋テク	スタンダード	15:30		9436	沖縄セルラー	スタンダード	15:30
	6702	富士通	プライム	15:00		9509	北海電	プライム	15:30
	6703	OKI	プライム	15:00		9531	東ガス	プライム	
	6752	パナソニックH	プライム			9532	大ガス	プライム	14:00
	6754	アンリツ	プライム	15:30		9534	北ガス	プライム	
	6823	リオン	プライム	15:30		9640	セゾンテク	スタンダード	15:00
	6864	エヌエフHD	スタンダード			9679	ホライ	スタンダード	16:00
	6912	菊水HD	スタンダード	16:00		9708	帝国ホテル	スタンダード	14:00
	6923	スバル電	プライム	15:00		9709	NCS&A	スタンダード	16:00
	6946	日アビオ	スタンダード	18:00		9744	メイトックGHD	プライム	11:00
	6971	京セラ	プライム	15:30		9759	NSD	プライム	15:30

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月30日	9766	コナミG	プライム	15:30		3663	セルシス	プライム	
	9795	ステップ	プライム	15:30		368A	北 里	プライム	
	9818	大丸エナ	スタンダード	14:00		3762	テクトロックス	プライム	15:00
	9828	ケンキGDC	スタンダード			3835	eBASE	プライム	16:00
	9969	ショクブン	スタンダード	15:00		3841	ジーダット	スタンダード	15:40
7月31日	1450	TANAKEN	スタンダード	15:00		3891	高度紙	スタンダード	14:00
	1878	大東建	プライム	11:30		3946	トーモク	プライム	15:00
	1879	新日建	プライム	18:00		4045	東亜合成	プライム	14:00
	1939	四電工	プライム	16:00		4113	田岡化	スタンダード	15:00
	1941	中電工	プライム	15:00		4188	三菱ケミ	プライム	13:30
	1942	関電工	プライム	13:00		4204	積水化	プライム	15:30
	1950	日本電設	プライム	14:00		4216	旭有機材	プライム	16:00
	1972	三晃金	スタンダード	15:00		4220	リケンテクノス	プライム	14:00
	1976	明星工	プライム	15:00		4228	積化成	プライム	
	2053	中部銅	プライム	14:00		4248	竹本容器	スタンダード	15:00
	2109	DM三井糖	プライム	15:00		4318	クイック	プライム	15:30
	2121	MIXI	プライム	15:00		4410	ハル化成G	プライム	13:00
	2130	メンバーズ	プライム	14:00		4417	グローセキ	グロース	16:00
	2152	幼児活動	スタンダード	16:00		4462	石原ケミカル	プライム	
	2208	ブルボン	スタンダード	15:00		4463	日華化学	スタンダード	15:00
	2212	山崎パン	プライム	15:30		4506	住友ファーマ	プライム	15:30
	2216	カンロ	スタンダード	13:00		4528	小野薬	プライム	12:00
	2220	亀田菓	プライム	13:00		4531	有機薬	スタンダード	15:00
	2267	ヤクルト	プライム	14:00		4539	日ケミファ	スタンダード	15:30
	2326	デシアーツ	プライム	16:00		4547	キッセイ薬	プライム	15:00
	2410	キャリアDC	プライム	16:00		4568	第一三共	プライム	13:00
	2479	ジェイテック	スタンダード	15:00		4617	中国塗	プライム	15:30
	2492	インフォマート	プライム	15:30		4626	太陽HD	プライム	12:00
	2594	キーコヒー	プライム	14:00		4658	日本空調	プライム	16:00
	2768	双 日	プライム	12:00		4685	菱友システム	スタンダード	17:00
	2782	セリア	スタンダード	15:30		4709	IDHD	プライム	11:30
	2805	エスビー	スタンダード	14:00		4718	早稲アカ	プライム	15:00
	2806	ユカフーズ	スタンダード	13:00		4761	サクラKCS	スタンダード	15:00
	285A	キオガシHD	プライム	15:30		4762	エクスネット	スタンダード	16:00
	2875	東洋水産	プライム	12:00		4771	エフエム	スタンダード	15:00
	2883	大 冷	スタンダード	14:00		4816	東映アニメ	スタンダード	15:30
	2892	日食品	スタンダード	12:00		4839	WOWOW	プライム	
	2908	フジッコ	プライム	14:00		5204	石塚硝	スタンダード	13:00
	2926	篠崎屋	スタンダード	15:30		5214	日電硝	プライム	15:00
	3004	神 栄	スタンダード	12:00		5257	ハシシステム	スタンダード	13:00
	303A	visumo	グロース	16:00		5280	ヨシユ	スタンダード	
	3079	DVx	スタンダード	15:00		5332	TOTO	プライム	15:00
	3092	ZOZO	プライム	15:30		5334	特殊陶	プライム	16:00
	3104	富士紡HD	プライム	11:30		5388	クミネ工	スタンダード	15:30
	3116	トヨ紡織	プライム	14:00		5410	合同鉄	プライム	
	3137	ファンデリー	スタンダード	15:30		5440	共英製鋼	プライム	13:00
	3153	八洲電機	プライム	15:40		5444	大和工	プライム	13:00
	3190	ホットマン	スタンダード	11:00		5445	東京鉄	プライム	13:00
	3352	バッファロー	スタンダード	15:00		5464	モリ工業	スタンダード	13:00
	3388	明治電機	プライム	15:30		5482	愛知鋼	プライム	14:00
	3407	旭化成	プライム	12:30		5603	虹 技	スタンダード	15:00
	3439	ミツ知	スタンダード	15:30		5612	鋳鉄管	スタンダード	15:00
	3512	日フイルト	スタンダード	14:00		5802	住友電	プライム	15:00
	3529	アツギ	スタンダード	14:00		5821	平河ヒューテ	プライム	15:30
	3542	VEGA	グロース			5844	京都FG	プライム	15:30
	3553	共和レザ	スタンダード	15:30		5905	日カン	スタンダード	16:00
	3566	ユニネク	グロース	15:00		5921	川岸工	スタンダード	15:30
	3580	小松マテール	プライム	15:00		5928	アルメックス	スタンダード	16:00
	3622	ネットイヤー	スタンダード	15:30		5929	三和HD	プライム	11:00
	3640	電 算	スタンダード	15:50		5938	LIXIL	プライム	13:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻	日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月31日	5951	ダイ子工	スタンダード	15:00		7476	アズワン	プライム	16:00
	5955	ワイスHD	スタンダード			7483	トウシヤ	プライム	15:30
	5959	岡 部	プライム	15:30		7504	高 速	プライム	15:30
	6023	ダイハツ	スタンダード	16:00		7508	GセブンHD	プライム	15:30
	6035	IRJ HD	スタンダード			7510	たけびし	プライム	
	6042	ニッキ	スタンダード	15:00		7537	丸 文	プライム	16:00
	6099	エラン	プライム	15:30		7539	アイホHD	スタンダード	13:00
	6104	芝浦機械	プライム	13:00		7595	アルゴグラフ	プライム	15:45
	6135	牧野フ	プライム	15:30		7625	ダイニング	スタンダード	15:30
	6144	西電機	スタンダード			7723	愛時計	プライム	14:00
	6157	日進工具	スタンダード	16:00		7741	HOYA	プライム	13:00
	6185	SMN	スタンダード	15:30		7775	大研医器	スタンダード	16:00
	6222	島精機	プライム	15:30		7795	KYORITSU	スタンダード	15:00
	6262	PEGASUS	スタンダード	15:00		7839	SHOEI	プライム	15:00
	6268	ナブテスコ	プライム	16:00		7844	マーベラス	プライム	
	6292	カワタ	スタンダード	12:00		7885	タカノ	スタンダード	15:30
	6325	タカキタ	スタンダード	13:00		7893	プロネクス	プライム	15:30
	6331	化工機	プライム	15:00		7896	セブンエ	スタンダード	11:00
	6391	加地テック	スタンダード			7897	ホクシン	スタンダード	16:00
	6413	理想科	プライム	16:00		7939	研 創	スタンダード	12:00
	6455	モリタHD	プライム	15:00		7942	JSP	プライム	15:00
	6473	ジェイ外	プライム	15:00		7943	ニチハ	プライム	16:00
	6488	ヨシタ	スタンダード	15:00		7947	エビコ	プライム	15:00
	6503	三菱電	プライム	15:30		7984	コクヨ	プライム	12:00
	6508	明電舎	プライム	15:30		7988	ニフコ	プライム	13:00
	6557	AIAI	グロース	15:00		8005	スクロール	プライム	15:00
	6643	戸上電	スタンダード	15:00		8015	豊通商	プライム	15:00
	6658	ソライ電子	スタンダード	11:00		8046	丸藤バ	スタンダード	13:00
	6723	ルネサス	プライム	09:00		8052	椿本興	プライム	16:00
	6737	EIZO	プライム			8053	住友商	プライム	13:00
	6758	ソニーG	プライム	12:00		8059	第一実	プライム	14:00
	6762	TDK	プライム	15:30		8065	佐藤商	プライム	13:00
	6770	アルプスアル	プライム	15:30		8076	カークス	スタンダード	14:00
	6797	名古屋電	スタンダード	16:00		8084	RYODEN	プライム	16:00
	6810	マクセル	プライム	15:30		8103	明和産	プライム	13:00
	6817	スミダコーポ	プライム			8119	三栄ホ	スタンダード	15:00
	6832	アイ電子	スタンダード	13:00		8133	エネクス	プライム	13:00
	6870	フェオール	スタンダード	15:30		8141	新光商	プライム	15:35
	6882	三社電機	スタンダード	15:30		8157	都築電	プライム	12:00
	6902	デンソー	プライム	11:00		8303	SBI新生	プライム	
	6932	遠藤照	スタンダード	16:00		8304	あおぞら	プライム	16:00
	6952	カシオ	プライム	15:30		8308	リそなHD	プライム	16:00
	6954	ファナック	プライム	15:30		8316	三井住友	プライム	15:00
	6960	フタバ電	スタンダード			8341	七十七	プライム	14:00
	6981	村田製	プライム	14:00		8346	東邦銀	プライム	12:00
	7046	TDSE	グロース	15:30		8359	八十二長	プライム	15:30
	7150	島根銀行	スタンダード			8368	百五銀	プライム	15:50
	7162	アストマックス	スタンダード	16:00		8381	山合銀	プライム	13:00
	7172	JIA	プライム	15:00		8383	鳥取銀	スタンダード	15:30
	7218	田中精密	スタンダード	14:00		8388	阿波銀	プライム	14:00
	7224	新明和	プライム	16:00		8473	SBI	プライム	
	7259	アイシン	プライム	13:00		8544	京葉銀	プライム	13:00
	7282	豊田合	プライム	13:00		8551	北日銀	プライム	15:00
	7297	カーメイト	スタンダード	15:00		8566	リョーリース	プライム	14:00
	7322	33FG	プライム	15:40		8585	オリコ	プライム	15:30
	7327	第四北越	プライム	16:00		8616	東海東京	プライム	11:00
	7442	中山福	スタンダード	16:00		8700	丸八証券	スタンダード	15:30
	7446	東北化学	スタンダード	15:00		8704	トレイダーズ	スタンダード	15:30
	7464	セフテック	スタンダード	15:10		8739	スパークス G	プライム	16:00
	7475	アルビス	プライム	14:00		8793	NECキャピ	プライム	15:00

※なお、下記のカレンダーはあくまでも予定で企業の都合により変更される可能性があります。

日付	コード	銘柄	上場部名	時刻
7月31日	8803	平和不	プライム	15:00
	8860	フジ住	プライム	14:00
	8871	ゴールド'ル	スタンダード	15:30
	8877	エスリード	プライム	13:00
	8898	センチュリー21	スタンダード	16:00
	8935	FJネクストHD	プライム	14:00
	8944	ラビビジネス	スタンダード	
	9009	京 成	プライム	15:00
	9020	JR東日本	プライム	15:00
	9022	JR東海	プライム	15:00
	9023	東京ミロ	プライム	15:30
	9024	西武HD	プライム	14:00
	9042	阪急阪神	プライム	15:30
	9065	山 九	プライム	15:30
	9206	SFJ	スタンダード	15:30
	9301	三菱倉	プライム	15:30
	9311	アサガミ	スタンダード	
	9325	ファイズHD	スタンダード	15:30
	9351	東洋埠頭	スタンダード	16:00
	9404	日テレHD	プライム	15:30
	9503	関西電	プライム	16:00
	9504	中国電	プライム	15:30
	9507	四国電	プライム	14:00
	9508	九州電	プライム	15:30
	9511	沖縄電	プライム	13:00
	9513	Jパワー	プライム	16:00
	9536	西部ガスH	プライム	16:00
	9682	DTS	プライム	15:30
	9686	東洋テック	スタンダード	15:30
	9687	KSK	スタンダード	13:00
	9715	トランスコスモ	プライム	15:00
	9742	アイネス	プライム	
	9763	丸建リース	スタンダード	
	9832	オートバックス	プライム	15:30
	9882	イーロハット	プライム	
	9889	JBCC HD	プライム	11:00
	9902	日 伝	プライム	13:00
	9928	ミロ情報	プライム	16:00
	9934	因幡電産	プライム	11:00
	9950	ハチパン	スタンダード	16:00
	9955	ヨンキュウ	スタンダード	15:30
	9962	ミスミG	プライム	15:00
	9997	ペルーナ	プライム	15:30

格上げ・買い推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価(円)
7月21日	SMBC日興	4062	イビデン	2→1格上げ	6300→21500
	ゴールドマン	581A	GO	買い新規	3900
		581A	GO	買い新規	3900
7月22日	みずほ	8058	三菱商事	中立→買い格上げ	3800→6190
	野村	3563	F&LC	BUY新規	6600
		7550	ゼンショーHD	BUY新規	10800
		581A	GO	BUY新規	3400
7月23日	UBS	6525	KOKUSAI	BUY新規	13200
		429A	テクセンド	BUY新規	5300
	ゴールドマン	3289	東急不HD	中立→買い格上げ	1520→1550
		8830	住友不	中立→買い格上げ	4100→3700
	UBS	6857	アドバンテス	NEUTRAL→BUY格上げ	34000→38100

格下げ・売り推奨

※下記のレーティングや目標株価は証券各社が発表したもののうち、フィスコが把握したものを集計しています。

日付	証券会社	コード	社名	レーティング	目標株価（円）
7月22日	SMBC日興	6330	洋エンジ	1→2格下げ	830→2000
7月23日	UBS	5411	JFE	BUY→NEUTRAL格下げ	2190→1860
	ゴールドマン	3309	積水ハウスR	中立→売り格下げ	76000→72000
		8802	三菱地所	買い→中立格下げ	4700→4600
7月24日	東海東京	6923	スタンレー電	OUTPERFORM→NEUTRAL格下げ	3660→3560

※ データは直近の新規上場銘柄の結果とスケジュールを全て掲載しています。
証券会社によって取り扱いが異なりますので、お取引の際は各証券会社にご確認ください。

銘柄名	コード	市場	上場日	仮条件 (円/発表日)	公募株数 (株)	売出株数 (株)	公募価格 (円/発表日)	初値 (円)	主幹事	7/24終値 (円)
ティアフォー	593A	グロース	7/22	1,015～1,085	17,449,600	7,181,100	1,085	1,009	MUMSS、モルガン、SMBC日興	1,102
事業内容:	オープンソースの自動運転ソフトウェア「Autoware」を活用した自動運転車両の開発・販売、実証・導入支援等									
アイ・グリッド・ソリューションズ	603A	グロース	7/29	740～770	2,689,000	9,662,500	770	-	野村	-
事業内容:	分散型エネルギー資源等を統合活用可能なプラットフォームの開発・運営／オンサイトソーラー発電所の開発・運営及びそれらの支援・コンサルティングサービス／蓄電池やEV関連サービスを含む、GX(グリーントランスフォーメーション)促進に係る各種サービス提供／再生可能エネルギー資源の効率的な使用／循環を目的としたエナジートレーディングサービス									
ピーエイブル	604A	スタンダード	7/29	660～700	2,577,500	1,191,600	700	-	みずほ	-
事業内容:	原子力発電所の建設・保守・廃炉工事、再生可能エネルギー事業の開発・運営(オペレーション&メンテナンス)、健康事業、料飲事業									
エプリー	607A	グロース	8/4	220～230	1,105,300	4,815,100	7/27	-	SMBC日興	-
事業内容:	動画メディアをはじめとする各種メディアの運営及びそれらプラットフォームを通じた広告ソリューションの提供									

雲上抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
1662	石油資源	1793	1675.75	1520	1899	福田組	3900	3748.75	3298.5
2429	ワールドHD	2706	2639	2296	2768	双日	5390	5149.75	4473
3048	ビックカメラ	1720	1666.25	1578.5	3076	あいHD	2732	2710	2349.5
3179	シュッピン	1240	1193.5	1170	3182	オイシックス	1587	1575.5	1505.5
3232	三重交通GHD	550	545.25	508	3861	王子HD	861	844.25	750
4221	大倉工	5070	4957.5	4346.5	4718	早稲アカ	2443	2383.5	2383
4902	コニカミノルタ	647	646.25	551	5122	オカモト	5600	5491.25	5170
5233	太平洋セメ	4121	4014	3875.5	5451	ヨドコウ	1360	1337.75	1210.5
5932	三協立山	647	643.75	604.5	5949	ユニプレス	1279	1264.75	1122.5
6333	TEIKOK	3235	3156.75	2982	6364	AIRMAN	1988	1882.25	1853.5
6594	ニデック	2549	2356.5	2546.5	6653	正興電	2218	2143.25	1719
6750	エレコム	1835	1775.25	1755	7172	JIA	2136	2066.5	1743
7224	新明和工	2014	1994	1695.5	7242	カヤバ	4305	4295	3650
7414	小野建	1435	1420	1406.5	7752	リコー	1557	1385	1511
7911	TOPPAN	4852	4634	4308.5	8075	神鋼商	2553	2464.25	2112.5
8614	東洋証	673	662.25	590	8793	NECキャピ	4065	4026.25	3750
9434	ソフトバンク	222	221	220.5	9506	東北電力	1142	1127.25	1043.5
9900	サガミHD	1921	1839.75	1708	9902	日伝	2819	2607	2806.5

雲下抜け銘柄(プライム)

コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)	コード	銘柄	終値 (円)	先行スパンA (円)	先行スパンB (円)
2121	MIXI	2827	2907.25	3312.5	2181	パーソルHD	260	279.5	263
2206	グリコ	5040	5520.75	5209.5	2211	不二家	2446	2569.5	2451.5
2296	伊藤ハム米久	4850	5692.5	4867.5	2897	日清食HD	2894	2934.75	3030.5
3139	ラクトJPN	3440	3642.5	3474.5	3197	すかいらーく	2981	3351.75	3080
3333	あさひ	1319	1333.5	1370.5	3984	ユーザーローカル	1712	1987	1756
4310	DI	2541	2637.75	3397	4680	ラウンドワン	1176	1190.5	1201.5
4751	サイバー	1405	1497.25	1467	5947	リンナイ	3557	3874.25	3571
8136	サンリオ	1160	1166.75	1318.5	8167	リテールP	1333	1367.25	1345.5
8252	丸井G	2922	3116.5	2940	8595	ジャフコG	2271	2450.5	2281
8848	レオパレス21	650	688.25	652.5					

株式、債券、ファンド、上場ETF及び上場リートのご購入の際のご注意事項

当資料は、投資判断の参考となる情報提供のみを目的としており、個別の金融商品の投資勧誘を目的として作成または提供するものではありません。当資料は、作成者が信頼できると判断した情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性や完全性を、または、将来の経済・市況動向等を予測・保証するものではありません。また、当資料中の見解等は今後予告なく変更される場合がありますので、投資に係る最終決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。金融商品等の手数料等及びリスクについては、当該商品等の上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書及びお客さま向け資料等に記載しておりますので、よくお読みください。

【お取引時の手数料について】(営業店でお取引の場合の手数料率、税込表示)

- 国内株式の売買取引には約定代金に対して最大1.155%の売買手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。マルチネット取引で売買いただく場合には対面取引の基本手数料から20%割引(当該金額が2,200円に満たない場合には、一律2,200円)となります。又、外国株式の売買取引には売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合は加え、売りの場合は差し引いた金額)に対して最大0.88%の委託手数料(同手数料額が2,750円に満たない場合は2,750円)をいただきます。
- 非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債等)を当社が相手方となり、お買付けいただく場合には、購入対価のみお支払いいただきます。
- ファンドのご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。＜直接費用＞購入手数料(スイッチング手数料を含む)上限3.85%、換金手数料上限1.10%、信託財産留保額上限0.50%が必要となります。マルチネット取引の場合は購入手数料(スイッチング手数料を含む)、換金手数料について対面取引手数料の20%割引となります。
＜間接費用＞運用管理費用(信託報酬)上限2.50%、(注)その他の費用・手数料(監査費用、有価証券等の売買にかかる手数料、資産を外国で保管する場合の費用、信託事務に要する諸費用等)をご負担頂きます。(注)その他費用・手数料は、運用状況等により変動する為、料率の上限等を示すことができません。
- 外国株式、外国債券、外国投資信託を売買取引する際の円貨と外貨の交換レートには、約定代金に応じて当社が決定する為替スプレッドがあります。

【リスクについて】

- <株式、上場ETF、債券のリスク>株式や上場ETFの売買取引については、株価の変動により投資元本を割り込むことがあります。債券は金利水準の変動等により価格が上下し、損失が生じるおそれがあります。外国株式、外国債券及び外貨建て資産に投資する上場ETFは、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化等により投資元本を割り込むことがあります。
- <為替リスク>外貨建て商品の場合、外貨建てでは投資元本を割り込んでいない場合でも、為替変動あるいは外貨交換の際の為替スプレッドにより、円換算ベースで投資元本を割り込み損失を被る場合があります。
- <上場リートのリスク>リートは、不動産などで運用を行う上場投資法人です。リート市場価格については、金融経済動向、不動産市況、災害(地震、火災等)等の影響を受け変動し損失が生じるおそれがあります。分配金は不動産などからの収入に応じ変動します。金融商品取引所が定める基準に抵触し上場廃止になった場合には、取引が著しく困難になる可能性があります。
- <ファンドのリスク>ファンドは、主に国内外の株式、債券、不動産投資信託証券など値動きのある有価証券等(外貨建て資産には為替リスクもあります)に投資しますので基準価額は大きく変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。また、「毎月分配型」及び「通貨選択型」ファンドの「収益分配金に関する留意事項」及び「通貨選択型投資信託の収益イメージ」は、必ずご確認して頂きたい重要事項となっておりますので、投資信託説明書(交付目論見書)をよくお読みください。



商号等 ひろぎん証券株式会社
加入協会 金融商品取引業者中国財務局長(金商)第20号
日本証券業協会

(帳票J-10-002 企画部2024年4月改正)

本店営業部	〒730-0031 広島市中区紙屋町1-3-8	TEL:082-245-5000	三 次 支 店	〒728-0012 三次市十日市中2-13-26	TEL:0824-62-3121
福 山 支 店	〒720-0812 福山市霞町1-1-1	TEL:084-922-1321	可 部 支 店	〒731-0221 広島市安佐北区可部3-20-21	TEL:082-815-2600
岡山営業所	〒700-0826 岡山市北区磨屋町1-3	TEL:086-222-1561	広島西支店	〒733-0841 広島市西区井口明神1-17-4	TEL:082-277-2700
府 中 支 店	〒726-0004 府中市府川町335-1	TEL:0847-45-8500	東広島支店	〒739-0014 東広島市西条昭和町2-7	TEL:082-422-3621
尾 道 支 店	〒722-0036 尾道市東御所町1-15	TEL:0848-23-8121	廿日市支店	〒738-0024 廿日市市新宮1-9-34	TEL:0829-31-6611
尾 道 支 店 今治営業所	〒794-0022 今治市室屋町1-1-13	TEL:0898-55-8280	岩 国 支 店	〒740-0018 岩国市麻里布町2-7-7	TEL:0827-22-3161
尾 道 支 店 因島営業所	〒722-2323 広島県尾道市因島土生町2017-3	TEL:0845-22-2291	徳 山 支 店	〒745-0034 周南市御幸通2-15	TEL:0834-31-5350
三 原 支 店	〒723-0014 三原市城町1-25-1	TEL:0848-67-6681	徳 山 支 店 萩営業所	〒758-0027 萩市吉田町51-11	TEL:0838-25-2121
呉 支 店	〒737-0045 呉市本通3-5-4	TEL:0823-21-6401	宇 部 支 店	〒755-0029 宇部市新天町2-3-3ポスティビル	TEL:0836-31-1105

ネットセンター(インターネット取引) <https://www.hirogin-sec.co.jp>